

第四十四回帝國議會
衆議院
地方鐵道法中改正法律案外一件

地方鐵道法中改正法律案
朝鮮私設鐵道補助法案
樺太地方鐵道補助法案
明治四十一年法律第三十五號中改正法律案

委員會會議錄(速記)第五回

會議

大正十年三月十一日午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

米田 穰君 本多貞次郎君 岡田伊太郎君
久慈 貫一君 匹田 銳吉君 久下 豐忠君
青柳都次郎君 柿原政一郎君 大石 大君
下出 民義君 鶴澤 宇八君 森山儀文治君
鈴木久次郎君 佐々木平次郎君
出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府內務局長兼參事官

樺太廳長官

樺太廳事務官

內務省土木局長

鐵道省監督局長

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軌道法案

朝鮮私設鐵道補助法案

樺太地方鐵道補助法案

明治四十一年法律第三十五號中改正法律案

○委員長(米田穰君) 開會致シマス、是ヨリ軌道法案ノ

質問ヲ前會ニ引續キ行フコトニ致シマス

○鶴澤宇八君 過日青柳君カドナタカ質問ナサレマシタ

ヤウデアリマスガ、御答ガ簡單デ、其要領ヲ私ハ得兼ネタノデ

アリマスカラ、稍、重複ノ嫌ハアリマスケレドモ、政府委員ノ

説明ヲ諸ハントスルノハ、軌道法第四條ノ所謂占用料ノ事

デアリマス、聞ク所ニ依リマスレバ、從來占用料ト云フモノハ

徵シタコトハ無イ、今度初メテ徵スルコトニナリタト云フコト

デアリマスガ、由來政府ガ或者ニ向テ税金ヲ取ル、其動

機——所謂國民ノ政府、政府ノ下ニ在ル所ノ國民ガ社會交

通ノ爲メニ爲スベキ其仕事ニ向テ、税金ヲ取ラナケレバナ

ラナイト云フ動機ガ那邊ニ起タノデアルカ、是ハ大ナル問

題デアルト思フデアリマス、而シテ其占用料ヲ徵收スベキ

其額、凡ソ何レノ方法デ計算スルノデアリマスルカ、是ガ第

一ノ問題デス、之ヲ國民ノ前ニ親シク披露致サナケレバナラ

ヌ、此事業ノ經營スル者ハ、仕事ノ上ニ於キマシテハ損得ヨ

リ計算ヲシナイ者ハ無イ、政府ノヤル事ナラバ、一般公衆ノ

爲メニ利害ヲ顧ミズヤレル場合モ多イケレドモ、事業ヲ經

營スル者ハ、算當ニ依テ始メテ起ルノデアル、政府ノ仕方ガ

若シモ苛酷デアラナラバ其地方、其土地ノ開發ハ得テ望メ
ナイノデアリマス、故ニ斯ノ如キ事ハ頗ル慎重ニ、又政府モ
此點ハ定メテ十分ノ考慮ヲ費サレタコトデアリマセウカラ、
此點ニ就テ懇篤ナル又其起リマシタ動機所以等ヲ、詳ニ御
説明アラントコトヲ希望致シマス

○堀田政府委員 只今御尋ノ要點ハ、占用料ヲ徵收スル
動機如何、及占用料ヲ決定スルノ標準如何、斯ウ云フ御尋
ノヤウデアリマシタガ、此御尋ニ御答ヲスルニ就テハ、大體道
路ノ占用ト云フモノハ、ドウ云フモノデアラカト云フコトノ御
話ヲ先以テ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス、御承知ノ通
リ今回——今回ト申シマシテモ、昨年カラ施行セラレマシタ
ル道路法ニ於キマシテハ、道路ノ占用ヲ許可シタ場合ニ於
テハ、占用料ヲ取ルト云フコトヲ原則トシテ居ルノデアリマ
ス、道路法第二十八條ニ「管理者ハ交通ヲ妨ケサル限度ニ
於テ道路ノ占用ヲ許可可又ハ承認スルコトヲ得」トシテ置キ
マシテ、其四項ニ「管理者ハ道路ノ占用ニ付テ占用料ヲ徵收
スルコトヲ得但シ前二項ノ規定ニ依ル占有ニ付テハ此限ニ在
ラス」前二項ト云フモノハ、國ガ道路ヲ占用スル場合ノ規定デ
アリマス、其場合ヲ除イテハ、占用料ヲ徵收スルコトヲ得ル
シデアリマス、而シテ軌道敷設ノ爲メニスル道路ノ占用モ、
道路法ノ所謂道路ノ占用ト云フモノデアリマスカラ、元來ハ
道路管理者ノ權限ニ屬スルノ原則ト致シマスケレドモ、軌
道ヲ敷設スル其區域ハ、數箇ノ道路管理者ノ管轄ニ當ル
場合ガ最も多キヲ占メテ居ル、隨テ之ヲ處理スルニ就テハ、
統一シテセネバナラヌト云フ關係ガアリマスノデ、此道路法
二十八條ノ例外規定ヲ四條デ設ケタ次第デアリマス、此規
定ニ依リマシテ、普通道路法ニ依レバ——道路管理者ノ
承認ヲ經テ、或ハ許可ヲ經テ、軌道ヲ敷設シナケレバナラヌ
原則デアリニ拘ラス、本法ニ於テハ道路ノ占用ト云フコトニ
就テハ、軌道ノ特許ヲ受ケマスレバ、ソレヲ以テ管理者ノ許
可、又ハ承認ヲ受ケタルモノト看做シテ、別ニ一々手數ヲ必
要トセヌト云フコトニシテ、軌道業者ノ便利ヲ圖ツノデアリ
マス、而シテ此場合占用料ヲ如何ニスベキカト云フコトニナ
リマス、是ハ只今御話ノ通り、餘程考慮セナケレバナラヌ
問題デアリマシテ、一體軌道ノ如キハ、公益事業ニ對シテ占
用料ヲ徵收スルコトガ善イカ惡イカト云フコトハ、十分論議
セラレ、又道路ノ行政ニ關スル重要ナル事項ヲ審議調査セ
シムル爲メニ設ケラレタル道路會議ニ於テモ、此點二十分審

議セラレタノデアリマス、サウシテ道路會議ニ於テハ、矢張斯
ウ云フ事業ハ是ハ保護獎勵ヲ加フベキ必要ガアルカラ、取
ラヌ方ガ宜イト云フ議論モアリ、又此占用料ト云フガ如キモ
ノハ、普通ノ稅ト違フノデアリ、一般公費ヲ以テ——一般
人民ノ負擔ニ於テ築造シタル道路ヲ無償デ使フト云フコト
ハ、決シテ穩當デナイ、稅ノ如キモノハ餘程性質ガ違フノデ
アルカラ、相當ノ所デアラナラバ之ヲ徵收シ、其金ヲ以テ道
路ノ維持修繕、其他ノモノニ充テタ方ガ宜シイト云フ議論
モアリマシテ、其際ニモ攻究ヲ遂ゲマシタ結果、占用料ハ相
當ノ額ヲ徵收スルノガ適當デアル、併ナガラ從來往々ニシテ
アリマシタヤウニ、軌道ヲ敷設スル場合ニ、其道路ノ擴張費
ヲ軌道業者ノ負擔トセシメテ、擴張ヲ遂行シテ居ルヤウナ場
合ニハ、是ハ徵收スルノガ穩當デナカラウ、既ニ立派ニ出來
タ道路ニ對シ、何等ノ費用モ投ゼズシテ敷設ノ特許ヲ受ケ
タ場合ニ於テハ、其道路ヲ占用スルニ就テ、占用料ヲ拂ハセ
ルノガ相當デアラウト云フコトデ、大體道路ノ上ニ軌道ヲ敷
設スルニ就テ、何等ノ負擔ヲ負担シナカッタト云フコト、或ハ程
度ノ負擔ヲシタ、或ハ全部ノ負擔ヲシタト云フヤウナ場合ト、
其場合々々ニ依テ是ハ決スベキモノデアラウト云フヤウナ場
合トデアリマシタノデ、當時ニ於テハ其道路會議ノ議論、而
モ全會一致デ其意味ノ事ガ決議ニナリタノデアリマスカラ其
意見ヲ尊重シテ、斯ウ云フ規定ヲ置イタ次第デアリマス、隨
テ其場合々々細カク規定スルガ如キハ、之ヲ法律ニ明示
スルコトハ困難デアラカラ、サウ云フ事柄ハ命令ニ依テ決定
シヤウト云フ積リデアリマス、サウシテ第四條ノ決定ニ基ツ
命令ニハ、ドウ云フコトヲ定メルカト云フニ就テハ、多少手
許ニ差上ゲテアリマス答デアリマスガ、軌道會社ガ自分自身
ノ存立モ困難デアルト云フヤウナ、サウ云フ經營ノ狀態ニ於
テハ、ソレカラ占用料ヲ取ルト云フコトハ、ドウデアラウト云
フノデ、先以テ一箇年ノ益金ガ建設費ニ對シテ相當ノ歩
合ヲ計リ軌道業者トシテ相當ノ收益アル場合ニ、始メテ占
用料ヲ徵收セシムルヤウナコトニシヤウ、ソレカラ其占用スル
區域ニ於ケル道路工業者ト同一、若クハ其以上ノ道路工
事費ノ負擔ヲセザル場合ニ於テ、或程度ノ負擔ヲセシムル
コトニシヤウ、斯ウ云フ風ノ事柄ヲ命令ノ上ニ規定シタナラ
バ、軌道業者ノ苦痛ニモナラズ、又道路ヲ管理維持スル者
ニモ申譯ガ立ツト申シマスカ、相當ノ私益ヲ得セシメテ無償
デ使ハセルト云フヤウナ非難モ免レルコトニナリテ適當デアラ

ウト考ヘテ、此規定ヲ置キマシタ次第アリマス
○鶴澤宇八君 私ハ敢テ反對ヲナサシムガ爲メニ質問スル
ノデアリマセヌカラ、細カニ其次第ヲ解レバ結構デゴザイマ
スガ、只今ノ堀田君ノ御説明ニ依リマス、相當ノ收益アル場
合ニ於テ之ヲ賦課徴收スルコト云フコトデアリマスアレドモ、
政府ガ相當ト稱スルハ、如何ヤウナ程度ヲ以テ相當ト認メ
テ居ラレノデアリマス、此點ヲ尙ホ一應明カニ御答ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○堀田政府委員 相當ト認ムル程度ヲ具體的ニ茲ニ細
カニ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、サウ云フ風ノ考、方針ノ下
ニ是カラ調査ヲシテ、此法律ヲ施行スルマデニ、命令ヲ以テ
定メヤウトシテ居ル次第デアリマス、併ナガラ凡ソ斯ウ云フ
モノヲ決定スルニ就テハ、軌道ヲ經營スルガ如キハ、他ノ色
ミノ投機的ノ事業トハ趣ヲ異ニシテ、非常ニ利潤ノ少イモ
ノデアリマス、其等ノ點ヲ考慮シテ定メナケレバナラスト
考ヘテ居リマス、ソレカラ又地方々々ニ依ッテ色々ノ事情モ
アラウト思ヒマス、免ニ角之ヲ定メマスルニ就テハ、占用料
ハ道路管理者ガ、監督官廳ノ認可ヲ經テ徵收スルコトナ
リマス、其ノ占用料ガ又餘リニ高過ギルト云フヤウナ場合
ニ於テハ、是ハ主務大臣ニ於テ其裁定ヲ定メルコトガ出來
ルヤウニ、道路法ノ規定ニナッテ居リマス、其邊デ適當ノ
始末ノ著クコト、考ヘテ居リマス

○鶴澤宇八君 サウ致シマス、占用料ト云フモノハ別段
一定シタ意見ノ下ニ、之ヲ徵收スルノデアリナイト解釋シテ宜
シウゴザイマス

○堀田政府委員 大體ハ占用料ノ決定權ハ、道路管理
者ニ在ルノデアリマス、道路管理者ガ占用料ヲ決定ス
ル標準ヲ示サウト思フデ居リマス、隨テ收益ノ何分ニ當ル
テ取レト云フヤウナコトハ、命令ノ中ニハ規定シナイ考デ
アリマス

○鶴澤宇八君 其點ハ判リマシタ、ソレカラ第八條ノ末項
即チ「前項ノ規定ニ依ル工事ニ要スル費用ノ負擔ニ付道路
管理者及軌道經營者ノ協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主
務大臣之ヲ裁定ス」トアリマス、此道路ノ工事ニ就キ地方
長官ト經營者ト協議ノ調ハナイヤウナ場合ハ、往々ニシテ
アルコト、思フノデアリマス、其場合ニ當リマシテ主務大臣
ガ之ヲ裁定スルト云フヤウナコトニハ、マサカ大臣ガ現場ニ
臨ンデ親シク見ル譯デモアリマス、一屬官若クハ
技手技師等ガ臨ンデ、其所謂復申ニ依テ費用ハ決マルノデ
アリマセウガ、斯ノ如キ事ハ、極メテ公平ヲ缺ク場合ガ多
イト私ハ斯ウ考ヘル、能ク斯ウ云フ事柄ハ世ノ中ノ進ムト同
時ニ世ノ非難ヲ避ケルト同時ニ、公平ニシナケレバナラス考
ノ上ニ於キマシテ、審判官トカ若クハ評議員トカ、名ハ就レ

デモ宜シイケレドモ、相當ノ眼識アル者ガ之ヲ十分ニ調査研
究致シタ上ニ、始メテ此是非善惡、即チ孰レガ適當デア
ルカト云フ判別ヲ下スノガ正當デアラウト思フノデアリマス、斯
ノ如キモノニ當リマシテ、主務大臣ノ裁定ノミニ待ツト云フ
コトハドウ云フモノデアラウカト、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマ
スアレドモ、此點ニ就キマシテ、サウ云フヤウナ機關ヲ以テ裁
定スルヤウナ事ニハ、御意思ハ無イノデアリマス、一應承
テ見タイ

○堀田政府委員 只今御説ノアツタ點ハ、餘程私共傾聴
シテ居タノデアリマス、實ハサウ云フ風ナ審查機關ト云
ヒマスルカ、或特別ナ組織ノモノヲ置イテ、サウシテソレニ裁
定ヲサセルト云フコトハ、今日先ヅ土地收用ノ場合ニ、土地
收用審查會ニ審查ヲサセテ、サウシテ其裁決ニ依テ決メテ
居リマス、例ガアリマス、併シ大體ニ於テ斯ウ云フ場合ニ
ハ多イハ地方長官ナドガ裁定スル場合ガ多イ、然ルニ本條
ニ於テハ其點ニ就テ餘程重キヲ置イテ、一方ニハ地方長官
ガ對手方ニナル場合モアリマス、是ハ獨リ此軌道ニ斯
ウ云フ規定ガアリマス、ソレカラツイ一兩日前ニ衆議院ヲ通過致
シタアリマス、ソレカラツイ一兩日前ニ衆議院ヲ通過致
シタル公有水面埋立法等ニ於テモ、斯ウ云フ風ナ例ニナ
ッテ居リマス、主務大臣ガ其等ノ事ヲ決定スル際ニ方々ハ、
固ヨリ一技手、一技術者ノ言フ事ノミニ依テ、決定スルコト云
フヤウナコトハナカラウト思フノデアリマス、場合ニ依テソ
レト専門ノ者ニ鑑定ヲ委託シテ鑑定セシムルコトモアリマ
ス、或ハ一技手ト云フヤウナ者ノ調査ノミニ信賴ヲ置ク
コトハ、無論出來ナイ事モアリマセウカラ、而シテソレヲ裁定
スル主務大臣ハ、是ハ御承知ノ通り内務大臣及鐵道大臣
デアリマス、多數ノ專門ノ技術者モアルコトデアリマス、
其裁定タルカ大體ニ於テ公平ヲ得ルコト、信ジマス、
先ヅ此程度ヲ以テ極メテ適當ナリト考ヘテ、本條ヲ起草シ
タ次第デアリマス

○鶴澤宇八君 次ハ第九條デアリマス、道路管理者
道路ノ新設又ハ改築ノ爲メ必要アリト認ムルトキハ軌道經
營者ノ新設シタル軌道敷地ヲ無償ニテ道路敷地ト爲スコ
トヲ得トアル、折角軌道經營者ガ軌道敷地トシテ定メタ所
ノ場所ヲ、管理者ガ勝手ニ之ヲ道路敷地トシテ定メタ所
ハ、成程軌道上ニ於テ左ノミ障礙ナク、若クハ他ノ關係ガ薄
カッタ場合ニ於キマシテハ忍ブベシト雖モ、其軌道上ニ必要
ナ場合モ亦管理者ガ道路上ノ必要アリトシテ、之ヲ敷地ト
ナサントスル場合ガ起ルコトアリト假定シタ時ニ於テ、敷地
即チ軌道經營者ガ勝手ニ道路管理者ニ敷地トサレタ場合
ニ於テハ、甚ダ迷惑ヲ感ズルコトガ多イト、斯ウ私ハ感ズルノ

デアリマス、實ハ此法文ニ向ヒマシテハ、明日ト心得マシタカ
ラ、十分ニ精讀致シマセヌデ、此關係ノ各條ニ向ッテ十分ニ
私モ盡シマセヌ所ガ多イノデアリマス、今俄ニ此條文ノ
ミヲ見マシテ御質問ヲスル事デアリマス、是等ニ向ヒマ
スル他ノ判リ易キ方法ガアルカモ知レマセヌケレドモ、此條
項ヲ一讀致シタ上ニ於キマシテハ、甚ダ亂暴ナ嫌ガアルト斯
ウ私ハ考ヘル、之ニ向ッテハ私ノ考カラ申シマス、是モ矢
張軌道經營者ニ一應ノ諒解ヲ求メ、而シテ相互ノ隔意ナ
キ程度ニ於キマシテ、管理者ガ道路敷地ト爲スモ可ナリト
考ヘルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ此點ニ就テ、如何ナ
ル御感ジヲ持ッテ居ラレマス、一應答辯ヲ求メマス

○堀田政府委員 此九條ニ就キマシテハ、成程只今ノヤ
ウナ御議論ガ他ノ方面ニモアリマシタノデ、相當考慮ヲ致シ
タノデアリマス、此規定ヲ以テ適當ト信ジテ、斯ク規定致
シタノデアリマス、何故斯ウ云フ風ナ規定ヲ置イタカト云フ
コトニナリマス、實ハ是ハ一面カラ見マス、軌道經營
者ノ便宜ヲ圖ル意味合ヲ以テ置イタノデアリマス、ソレハ過
日モ青柳サンノ質問ニ對シ御答シタ時ニ述ベマシタ通り、日
ニミミ發展スル大都市ノ附近ノ如キハ、或ハ將來道路ニ併
用スル軌道敷地ナケレバナラス、道路ト併用スル軌道敷地ナケレ
バナラス言ヒ換ヘレバ占用軌道デハ許可ガシタクナイト云フ場
合ガ澤山アルノデアリマス、サウ云フ場合ニ、ドウモ軌道業者
ニソレタケノ道幅、例ヘバ十間ナラ十間ノ道幅ヲ悉ク費用
ヲ負擔サシテ、道路ヲ敷イテ、道路ヲ造テ、其上ニ軌道
ヲ敷クト云フノハ、是ハ非常ニ酷ニナル、サレバト云フ道路
ヲ敷クニハ、敷設シヤウトスル公共團體デ詰リ其費用ヲ負
擔スル、公共團體デ今財政上ノ都合デ出來ヌト云フヤウナ
場合、サウ云フ場合ニハドウモ許シタイガ、左レバト云フテ占
用軌道ハイカスト云フコトガアルノデアリマス、將來ノ大局
カラ見テ、ドウモ占用軌道敷設ヲ許シタイト云フ場合ガアル
其場合ニハ此規定ガアリマス、先ヅ以テ占用軌道敷設
許シテ置イテ、他日之ヲ道路敷設ニ充テ、サウシテ道路ト
併用サセ、斯ウ云フ風ニシタ方ガ、軌道經營者ノ爲メニ宜
シカラウト云フノデ、是ハ置イタノデアリマス、現ニ東京附近
ノ例ヲ申シマシテモ、御承知ノ都市計畫法ニ依テ道路ガ幾
ツモ決マテ來ル、決マテ來ルガツレガ或ハ數年、及或ハ十
數年後ハ道路トスル其場所マデモ、此所ハ將來道路ヲ開ク
ノデアルト云フコトヲ決メナイト、其所ヘ軌道ヲ敷設スル場
合ガアル、ソレレドウシテモ他日ノ事ヲ豫想シテ、若シ他日道
路ヲ其所ヘ造ル場合ニ於テハ、其所ニアル軌道ヲ道路ノ上
ニ敷カシムル必要ガアル、サウ云フ場合ニ於テ、斯ウ云フ風
ナ規定ガアッテ、早速軌道ハ軌道トシテ許ス、併シ他日之ヲ
道路トスルト云フ場合ニ於テハ、無償デ道路敷地ノ一部ニ

ナ規定ガアッテ、早速軌道ハ軌道トシテ許ス、併シ他日之ヲ
道路トスルト云フ場合ニ於テハ、無償デ道路敷地ノ一部ニ

スルト云フコトニ致シマスレバ、段々處分ヲシテ行クコトが出來マス、サウシテ他日ニ至テ道路敷地ト致シマシテモ、是ハ無償道路敷地ニ使フコト云フノデアリ、土地其モノハ會社デ經營致シマスレバ、會社ニ殘ルノデアリマス、謂ハバ抵當其他ニモ入レルコトが出來ルト云フコトニナリマス、併シ此點ニ就テハ先刻鶴澤君ヨリ言ハレマシタヤウ意見ガ、鐵道同志會カラ出テ居リマス、其點ハ考慮致シマスガ、此場合ニ原則トシテハ、普通道路敷地ニ使フテ居ル場合ハ、軌道ノ區間ト左右二尺ツ、ハ、軌道經營者ガ其費用ヲ負擔シテ、道路ノ維持修繕ヲ爲ス義務ヲ負擔セシメテアルノデアリマス、此無償道路敷地ニ編入シテ場合ニハ、維持修繕ノ費用ハ矢張道路管理者ノ方デ持ツコトニシヤウト云フノデアリ、後ノ方デシテ調和スル爲メノ規定ヲ設ケテ居リマス、此點デ鐵道同志會ノ希望モ緩和サレ、又當局トシテ、斯ル場合ニ處スル途モ相立ナマス次第デゴザイマス

○鶴澤宇八君 更ニ私ハ此總體ニ就テノ意見ヲ伺ヒタイ、實ハ大臣ノ御答辯ヲ乞ヒタイノデスケレドモ、今俄ニ大臣ノ出席ヲ乞フコト云フテモ、色々貴族院ニモ關係ガアリマシテ、御差支ノ程ト思ヒマス、堀田君ノ御答辯デ宜シノデアリマス、此軌道ノ所管問題デス、是ハ從來度々委員會等ニ於テ起リマシタ所ノ問題デアリマス、此所管ノ事ハ、實ハ軌道經營者カラ申シマスレバ、恰モ二重監督ノ弊ニ係リマシテ、極メテ煩シト申シマス、語弊ガアリマセウガ、交通ノ發達カラ見マシテ、非常ニ事面倒ニ陥ル場合ガ往々ニシテアルト私ハ斯ウ考ヘルノデアリマス、此軌道ノ所管トシテ内務省ガ取扱ハレル所以ハ、主ニ國道縣道ヲ各府縣ガ取扱ヒマス結果ト致シマシテ、勢イ内務ノ所管トナッテ居ルノデアリマセウケレドモ、是ハ洵ニ一朝ノ議論デハ何方ガ宜イト云フコトハ、極論モ出來ナイ場合ガアルノデアリマス、例ヘバ水產講習所ノ如キモノハ、往年文部省農商務省トガ所管爭フサレタ場合モアリマス、免角役人ハ自分ノ所管スルモノヲ他(移スト云フコトハ、自分ノ勢力權能ヲ殺ガレル如キ感ヲ以テ、自分ノ所管タルヲ主張スル場合ガアルヤウニ思ハレマス、マサカサウバカリモアリマス、一部ニハアルヤウニ思ハレルノデアリマス、事實水產學校ノ如キモノハ、一ハ學校デアリマス、カヲ文部省ガ扱フ、又水產々業上ノ關係カラ致シマスレバ、農商務省ガ扱ハネバナラヌ、之ト同ジ意味デアリマス、所デ此軌道ヲ取扱フベキモノハ内務省ノ人デハドウデアリマセウカ、素人デアリマス、堀田君ハ長ク土木局長トシテ、該博ナ智識ヲ有シテ居ラレ、又今ノ次官ハ多年土木局長ノ職ニ居ラレタノデアリマス、是等ノ人ハ軌道上ニ就テ、相當議論モ智識モ有シテ居ラレノデアリマスケレドモ、何時モ小橋君、堀田君ガ此所管ヲ取扱ハレ

ルトハ言ハレマセヌ、素人ガ其職責ニ當ル場合モ大ニアルト謂ハナケレバナラヌ、頭ニ其智識ノナイ者ガ其仕事ヲ取扱ッテ、此軌道經營者ノ希望ニ能ク副フコトが出來ルヤ否ヤ、是ハ甚ダ疑問デアリマス、數年前ニ委員會等ニ於テ度々議論ヲ致シタコトガアリマス、其當時ニ於キマシテハ、鐵道省モマダ鐵道院デアッタノデアリマシテ、取扱フ所ノ人間モ、又地方ヲ監督スル上ニ於テモ、以前ト今日ト趣キ異ニ致シテ居ルノデアリマス、勿論内務省ノ所管トシナケレバナラヌ場合モ多カラウト思ヒマスケレドモ、要スルニ此種ノモノハ鐵道省ニ於テ取扱ハレタ方ガ宜イ、鐵道省ノ人達ハ、此軌道上ニ於ケル智識ハ、皆ナ軌道ノ中カラ養成サレタ人バカリデアリマシテ、餘程發達シテ居ルノデアリマス、其等ノ人ガ取扱ヘバ軌道經營ト云フ言葉ハ、一言ニシテ了解シ得ラル、コト、思フノデアリマス、隨テ經營者ト官廳ノ間ニ於ケル意思ノ疏通、及總テ取扱上ニ於ケル事務ガ、敏速ニ進捗スルモノデアルト私ハ斯ウ考ヘルノデアリマス、併ナガラ私ハ一概ニ鐵道省デナケレバナラヌト云フ議論ヲ、確定的ニ持ッテ居ル者デアリマセウケレドモ、軌道經營者ガ、鐵道省ノ監督ヲ受クル場合モ色々アラウト思フノデアリマス、例ヘバ地下鐵道ノ如キモノハ、是ハ内務省ガ其取扱上ニ就テ鐵道省ノ十分ナル了解、鐵道省ノ意見ヲ徵スルニ非ザレバ、之ニ向ッテ是非ノ判斷ハ到底下シヤウガナカラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナモノヲ徒ラニト云フテハ失禮デアリマス、只ダ舊來ノ成來リニ依テ、單ニ内務省デナケレバナラナイト云フコトハナカラウト思フノデアリマス、之ニ就テハ鐵道省ト接衝ノ上ニ於キマシテ、斯ノ如キ問題ハ鐵道省ノ方ヘ移ス方ガ、國家ノ爲メニ利便デアルト云フヤウナ御交渉、若クハ御話ハ無カタノデアリマス、又移ス所ノ考ハ無イノデアリマセウカ、堀田君デ御答ガ出來ナケレバ致方アリマセウガ、若シ幸ニ大臣モ居ラズ、次官モ居ラザル場合ニ、鶴澤ニ斯ク答ヘタト云フ復命デモスレバ結構ト思ヒマス、先ヅ以テ御答ノ出來ル範圍ニ於テ、其内容ヲ御前ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○堀田政府委員 只今ハ軌道ノ所管ニ就テノ、御意見ヲ混ヘテ御質問ガアリマシタ、内務當局ニ於テハ固ヨリ只今御話ノアリマシタ通り、自分ノ仕事ガ減ルカラヤツタナイトカ、サウ云フサモシ考ハ、一ツモ持チマセヌ、只タ御承知ノ通り軌道ト云フモノハ、道路ノ上ニ敷設スルコトヲ原則トシテ居リマス、ドウシテモ道路ヲ主管シテ居ル官廳ガ、餘程ノ重キ考ヲ持タナケレバナラヌコトニナリマス、道路ノ上ニ敷設スルト云フコトヲ原則トシテ居リマス、ソレデアリマスカラ昔カラ我ガ日本ニ於テハ、軌道ハ舊トハ内務省單獨ノ主管デアリマシタ、ソレガ明治四十何年カニ當時ノ鐵道

院——言ヒ換ヘレバ内閣總理大臣デノ、内閣總理大臣ト内務大臣ト兩方ノ所管デアリマシタ、其中デモ軌道ヲ道路ト特許スルト云フコトハ、マア主トシテ内務大臣ガ事實ニ於テ重キ責任ヲ持ッテ調ベル、ソレカラ特許サレタ軌道ガ今度營業ヲ經營スルニ就テハ、詰リ運輸ヲ爲スニ就テハ、是ハ主トシテ鐵道省ガ重キ責任ヲ持ッテ監督指導スル、斯ウ云フ意味ニ於テ、兩省ノ間ニ相當重キ責任ヲ置イテ調ベル場合々々分ツテ、サウシテ主管シテ來タモノデアリマス、俗テ今回軌道法ヲ制定スルニ當ッテ、其點ハドウ考ヘタカト云ヘバ、實ハ交通省ト云フモノガ出來マシテ、道路、鐵道、灣ト云フヤウナ、交通ニ關スル總テノ事柄ヲ一箇所デ主管スレバ、是ハ一番交通ノ發達ヲ圖ル上ニ於テハ適當デアラウト思ヒマスケレドモ、今日ノ制度ニ於テ種々ナ關係カラ、サウ運ビ兼ネルモノデアリマス、失張從來ノ例ヲ襲ウテ、道路ノ上ニ敷設スル道路交通ノ補助機關タル性質カラ見テ、軌道ヲ矢張内務大臣ノ所管ニ屬セシムル方ガ適當デアラウト、斯ウ云フ考ヲ以テ、今回モ其主義ヲ襲ウテ參リマシタ次第デアリマス

○森山儀文治君 極ク私ハ簡單ニ二點許リ御尋シタイト思ヒマス、第八條ノ第一項デアリマス、之ニ依リマス、地方長官ガ必要ガアルト認ムルキニハ、道路管理者ヲシテ道路ニ敷設スル軌道工事、及之ガ爲メ必要ヲ生ジタル道路ニ關スル工事ノ全部、又ハ一部ヲ執行サセルコトガ出來ル規定ニナッテ居ルノデアリマス、此必要ト云フコトハ、一體ドウ云フ程度デアルカ知リマセウガ、地方長官ガ濫リニ自己ノ意思ニ於テ、是モ必要ダ、彼レモ必要デアルト云フヤウナコトカラ道路管理人ニ工事ヲサセルト云フヤウナ、或ハ弊害ヲ生ズル虞ガアリハシナイカ、心配スル次第デアリマス、就キマシテハマア必要ト云フノデアリマスカ、具體的ニ申サレ兼ネルカモ知レマセウガ、特ニ第八條ニ「必要」ト御記載ニナッテハドウ云フ必要デアリマスカ、又二十七條ヲ見マスト云フコト、命令ノ通りニ工事ノ執行ヲ致シマセウヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレト明細ニ制裁ヲ設ケラレテアル、是ダケノ制裁ガゴザイマスレバ、尙ホ地方長官ヲシテ、第八條第一項ノ如キ處分ヲ爲サシムル必要ハ無イヤウニモ考ヘラレマス、ソレゴザイマス、此一項ノ規定ト云フモノヲ特ニ必要トシテ、二十七條以外ニ尙ホ是ダケノ權利ヲ地方長官ニ與ヘルト云フ、特ニ必要ガアルノデゴザイマセウカ、先ヅ第一ニ其點ヲ御伺シタウゴザイマス

○堀田政府委員 此規定ヲ置クニ至リマシタ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、サウスレバ只今ノ御尋ハ諒解サレルコト、存ジマス、申サマデモナク軌道ノ敷設工事ハ、企業者ガ自己ノ負擔ニ於テ自ラ執行スルコトハ是ガ原則デアリマス、併シ道

路ヲ新設若クハ改築スル場合ニ當リマシテハ、交通ノ關係カラ見テモ、又技術ノ關係カラ見テモ、將又經濟上ノ關係カラ見マシテモ、道路管理者ガ企業ノ認可ヲ受ケタル工事方法ニ依テ、企業者ノ負擔ニ於テ、其工事ノ一部、又ハ全部ヲ施行スルヲ得策トスル場合ガ少クナイノデアリマス、其場合ニ處スル爲メニ此規定ヲ置イタルデアリマス、簡單ニ例ヲ申上ケテ見マスニ云フト、今東京市ニ於テ道路ノ路面ノ工事ヲスルモノヲ以テ、路面ヲ舗裝スル、無論モノヲ以テ舗裝スルニ就キマシテハ、其下ニ幾多ノ基礎工事モ要リマスルガ、免ニ角木ナリ石ナリ舗裝工事ヲ東京市ガヤルト云フ場合、ニ於キマシテ、東京市ハ電車ハ同シ市ノ經營デアリマスカラ、大ナル問題ハ起リマセヌガ、是ガ民間ノ軌道經營者ガヤル居ル場合ハ豫想シテ見マスニ云フト、市ガ道路ヲヤルトキニ、序ニ軌道間左右二尺ノ工事ヲ、道路管理者ガ一緒ニ仕事ヲヤリマスニ云フト、是ハ交通ノ妨害ヲ少クスル上カラ見テモ、經濟ノ上カラ見マシテモ、又道路ノ舗裝ノ如キハ一種特別ノ技術ヲ要シマス、其技術ノ關係カラ見テモ、非常ニ都合ガ好イノデアリマス、サウ云フ場合ニ是迄ハ何等便宜ノ方法ガアリマセヌノ、困テ居リマシタカラ、此立法ヲ爲ス際ニ、サウ云フ場合ニ處スル途ヲ設ケヤウト云フコトデ、第八條ヲ置キマシタ次第デアリマス

○森山儀文治君 次ニ第二十一條ニ就テ御致シマス、第二十一條ノ第一項ニ依リマスレバ、軌道會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ、株金ノ十分ノ一マデ下ルコトガ出來ルト云フ規定ニナッテ居リマス、是ハ普通ノ商會社等ニ較ベマスト、普通ノ商會社ハ四分ノ一以上ノ拂込ヲシナケレバナラヌコトニナッテ居リマスガ、軌道會社ガ特ニ斯様ニ優待サレテ居リマスガ、此十分ノ一マデ下ルコトガ出來ルト云フコトニサレマシタ理由ハドウデアルカ、是ガ一ツツソレカラ本條ノ第三項ニ、前二項ノ規定ハ地方鐵道會社ニ非サル會社ガ兼業トシテ軌道ヲ敷設スル場合ニハ之ヲ適用セストアリマスガ、第一項ト第二項トハ、特ニ交通ノ便ヲ圖リマス軌道會社ヲ保護シ優待スル意味カラ、斯様ニ規定ヲ設ケラレタモノデアアルマイカト想像致シマスガ、果シテ左様デゴザイマスレバ、地方鐵道會社デナイ他ノ會社ガ矢張此軌道ヲ設ケマシテ、交通ノ便ヲ圖ルト云フコトヲ兼業ヲ致シマス、此場合ニ於キマシテハ、之ニ對シマシテモ相當ノ優遇ヲシ、保護ヲスルト云フコトノ權衡カラ云フデモ、交通上ノ便ヲ計ルト云フ方カラ見マシテモ必要デアラウト思ヒマス、然ルニ第三項ニ於テ鐵道會社ナラ宜イガ、其他ノ會社ガ假リニ軌道ヲ建設致シマス、其方ニハ便利ヲ與ヘナイト云フ規定ヲ設ケマシタノハ如何デアリマセウカ、此點ヲ伺ヒマス

○堀田政府委員 只今御話ノアリマシタ通り、一般ノ商

事會社ニ於テハ、商法第二百二十八條第二項ニ依リマシテ、株金第一回拂込金額ハ、四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ナイト云フコトヲ規定シテ居リマス、之ノ例外ヲ設ケマシテ、只今ノ二條ノ一項ヲ置キコトニシタルデアリマスガ、是ハ單ニ交通機關ヲ獎勵スルコトカ、之ヲ援助スルコトカ云フ意味ハ、デナイノデアリマシテ、軌道會社或ハ地方鐵道會社モ、最初ヨリ一時ニ多額ノ金ハ要ラヌノデアリマス、數年ニ亘リテ順次ニ工事ニ着手スルモノヲ云フヤウナ場合ガ多イモノデアリマスカラ、レデ斯ウ云フ規定ヲ置キコトニ致シマシタ次第デ、之ニ依テ以テ會社ノ存立ヲ容易ナラシムルコト云フ趣意デアリマス、ソレカラ第三項ノ「前二項ノ規定ハ地方鐵道會社ニ非サル會社ガ兼業トシテ軌道ヲ敷設スル場合ハ之ヲ適用セス」是ハ地方鐵道ニ就テモ第二十一條ノ一項二項ノ如キ規定ガアリマス、詰リ言ヘバ軌道會社ニ斯ウ云フ恩典ハ與ヘル、一面ニ於テ地方鐵道法ニ於テ地方鐵道會社ニ與ヘテ居リマスカラ、此三項ニ於テ、地方鐵道會社デナイ會社ガ兼業トシテ軌道ヲ敷設シタ場合ハ之ヲ適用セス、此恩典ヲ與ヘ得ベキ性質ノ會社ガ軌道會社ヲ兼業シタ場合ニハ宜シイガ、其以外ノ場合ニハ之ヲ適用セス、斯ウ云フ意味デ此規定ヲ置キマシタ次第デアリマス、御尋ノ他ノ目的ヲ有スル會社ガ、傍ラ軌道ヲ兼業スルト云フ場合ニハ此規定ヲ適用シナイコトニシテ、第二十一條ノ規定ニ依テ軌道會社ヲ保護スル精神、ソレカラ地方鐵道法ニ依テ地方鐵道會社ニ除外例ヲ設ケタ其點、其等ト他ノ會社ガ兼業スル場合トヲ區別シテ、之ヲ規定ノ上ニ現シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ考ヲ以テマシテ第三項ヲ置イタ次第デアリマス

○森山儀文治君 意味ハ能ク判リマシタガ、ソレハ矢張地方鐵道會社ヲ獎勵スルコトカ優遇スル上ニ於テ、甚ダ不權衡デナイカ、適當デナイヤウニ思ヒマスガ、其理由ハドウデアリマセウカト云フコトヲ一寸伺ヒマス、ソレカラ今一ツ序ニ第三十條ニ於キマシテノ罰則デアリマス、二十八條、二十九條ノ罰則ハ、公共團體ガ軌道ヲ經營スル場合ハ適用シナイトナッテ居リマス、公共團體ハ反法行違ハ致シマスマイガ、併シ其當局者ノ人如何ニ依リマシテ、時ト場合ニ依リマシテ、隨分ニ十八條トカ二十九條トカノ反法行爲ガナイト限ラヌ、然ルニ公共團體ト云フモノハ罰シナイノデアリマセウカ、公共團體ノ管理者デアルトカ使用人デアルトカ、斯ウ云フ人ニモ適用シナイト存ジマスガ、サウ云フコトニナッテ居リマシテモ、別ニ弊害ハ無イト云フ御意見デアリマセウカ、ドウシテ此點ニ對シマスル制裁法ハ御設ケニナリマセヌカ、或ハ他ニ何等カ取締ノ方法デモ御設ケニナリマス積リデアリマスカ、之ヲ併セテ伺ヒマス

○堀田政府委員 只今ノ御尋ノ第一點ハ、二十條ノ第三

項ガドウモ權衡ヲ得ナイデナイカト云フ御話デアリマスガ、他ノ目的ヲ有スル會社ガ兼業トシテ軌道ヲ敷設スル場合ハ、第二十一條ノ一項二項ノ如キ特典ヲ與ヘルコトニナリマスレバ、總テノ會社ガ此特典ヲ有スルコトガ出來ルヤウナコトニナリマシテ、商法ノ例外規定ヲ餘リ濫用シ過ギル關係ニナリハセヌカ、茲ニ千萬圓ノ會社ガ、九百萬圓、或ハ九百萬圓ニ至ラヌデモ、七八百萬圓ハ他ノ目的ノ爲メニシマシテ、殘リノ百萬圓カ二百万圓デ軌道業ヲ營ム場合ニ、其會社全體ノ株金ノ十分ノ一拂込ハ仕事ガ出來ルト云フコトニナッテ、取締リガ出來ナイト思ヒマス、ソレデ三項ヲ置キマシタノデ、極メテ權衡ヲ得テ居ル考デス、二十條ノ是ハ獨リ軌道法ニバカリアリマス規定デナカ、地方鐵道ニモ此意味ノ規定ガアリマス、大體刑法ノ學理ノ上カラモ、又今日マデノ立法ノ趣意カラ見マシテモ、公法人ニ刑罰ヲ科スルト云フコトハ適當デナイ、ソレカラ其使用人ニ對シテモ、行政監督上ノ關係ニ於テ處理スレバ十分目的ヲ達シ得ル、斯ウ云フ考デアリマス

○鈴木久次郎君 皆サンノ御尋デ大略疑問ハ氷解シタ譯デアリマスノデ、サウ御尋スル事モゴザイマセヌガ、一二一寸御尋シテ置キマス、此十七條軌道附屬物ハ、讓渡貸渡ヲ爲スコトヲ得スト云フコトデアリマスガ、是ハ些末ナ問題ノヤウデアリマスガ、斯ウ云フコトマデ主務大臣ガ干涉シナケレバナラヌト云フ必要ガアリマセウカ、コンナ事ハ經營者ニ任シテ置イテハドウデセウ、一寸シタモノヲ貸スノニ一々主務大臣ノ認可ナド、云フコトハ、少シク干涉ニ失シハシマセヌカト云フ感ジガスルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○堀田政府委員 是ハ只今御尋ノ如キ或ハ御疑念モ起ルカモ知レナイ規定デアリマスガ、併シ實際ノ上カラ見マスレバ、斯ル規定ガ無イト甚不都合ヲ生スルコトガアルノデアリマス、大體ニ於テ十七條ノ規定ニ基ツク命令ニハ、車輛トカ停車場ノ建設物ト云フモノヲ定メル積リデアリマスケレドモ、是等ノモノガ勝手ニ讓渡貸渡ガ出來ルト云フコトニナリマスニ云フト、御承知ノ東京市ニ於ケル電車交通ノ混雜ナ狀況ヲ見マシテモ、車ハ幾ラアデモ足リナイト云フヤウナ狀況ニ在ル場合ニ、種々ナル團體カラシテ其車ヲ讓渡スルコトニナリマシテハ、公衆交通ノ上ニ非常ナ影響ヲ及ボスコトニナリマス、假リニ或ル兩地間ヲ往復スル箱ガ二十臺アルハ、實ハ一般交通ノ狀況カラ見ルト、モト欲シイト云フヤウナ場合ニモ、其中ノ三臺ナリ五臺ナリ、他ノ會社ヘ一時貸シテヤルト云フヤウナコトガアリマス、其會社ガ忽チ交通上混雜ヲ惹起スコトニナリマスノデ、サウ云フ場合ニハ相當取締ル必要ガアルト云フ考デ、此規定ヲ置イタ次第デアリマス

○鈴木久次郎君 二十七條ノ第一項ニ「取締役其ノ他ノ役員ヲ解任スルコト」斯ウ云フ事ガアルマデスガ、無論ハ何カ違反行爲ガアレバ、解任ト云フコトハ當然デアリマセウ、併ナカラ其第三ノ次、前項ノ規定ニ依リテ解任セラレタル取締役其ノ他ノ役員ハ再任セラレルコトヲ得ス、ト云フ規定ガアルノデアリマス、是ハ一旦一寸シタ違反行爲ガアル解任セラレバ、サウ云フ場合ニ殆ド未來永劫無制限ニ、其人ガ役員ニナルコトガ出來ナイト云フ風ニナッテ居ルノデアリマスガ、此軌道會社ノ重役ト云フノハ、其地方ニ於テ名望家有カ者ヲ網羅シテ居ルノデ、サウ云フ人ガ一旦一寸シタ違反行爲ノ爲メニ、未來永劫サウ云フ事ニ干與スルコトガ出來ナイト云フヤウナコトハ、少シ苛酷ノヤウニモ考ヘラレシ後ノ經營上ニモ幾分ノ支障ヲ來ス虞ガナイトモ言ヘマセヌガ、斯ウ云フコトハ如何ナモノデアリマセウカ

○堀田政府委員 是ハ實ハ地方鐵道法等ノ規定ニ倣ッテ作リマシタノデ、地方鐵道法ニ於テモ同様ナ趣旨ニ規定サレテ居リマス、成程只今御尋ノヤウナ苛酷ノ嫌ガアリマステレドモ、併シ此第十七條ノ第一項ハ輕便鐵道地方鐵道ニ對シテ、今迄鐵道省ニ於テ此法律ヲ運用シ適用シ來ッテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ事例ハ一ツモ無イノデアリマス、併シ斯ル規定ヲ置イテ、詰リ傳家ノ寶刀ヲ控エテ置イテ、先ヅ拔カズニ置キヤウニシタ方ガ宜カラウト云フノデ、此規定ヲ置イテ次第デアリマス

○鈴木久次郎君 私ハ之ニ對スル質問ハ既ニ無イノデアリマスガ、是ハ他ノ問題デアリマスガ、一應鐵道省ノ政府委員ニ此際御尋ヲシテ置キタイノデアリマス、ソレハ或ハ適當デナイカモ知レマセヌガ、千葉縣ニ於ケル縣營ノ軌道ガアル、ソレハ千葉縣ノ木更津久留里間、大多喜大原間、斯ウ云フモノガ縣營デアアルノデアリマス、是ハ既ニ先日所謂鐵道網ニ依テ衆議院ヲ通過シテ、此線路ガ丁度此縣營ノ軌道若クハ鐵道ニ當ッテ居ルノデアリマス、殆ド同一ノモノデ、是ハ遠カラズ此鐵道網ノ工事ニ取掛ルコトニナラウト存ズルノデアリマスガ、此縣營ノ軌道ヲ買收スル場合ニハ、如何ナル評價ニ依テ買收ナサル御考デアリマセウカ、是ハ普通ノ鐵道ヲ買收スルヤウニ、利益計算ニ依ルコトガ出來ヌト思ヒマスガ、其等ニ就テ鐵道省ノ御方針ガ定メ居ルカラ承テ置キタイ、尙ホ此線路ニ就テ御調ニナタ狀況ガ御判リニナッテ居ルナラバ、此際承テ置キタイノデス

○井出政府委員 私カラ御答致シマス、アノ木更津久留里間ノハ、鐵道ト軌道ト兩方ゴザイマスガ、アレヲ買收スルヤ否ヤト云フコトハ今日御答ヲ致シ兼ネマス、ソレカラ又之ヲ國ニ於テ買收スル場合ニ於テハ、此軌道法第十九條ニ規定シテゴザイマス

○鈴木久次郎君 線路ノ御調ヲシタコトガアリマスカ
○井出政府委員 線路ノ調ハ鐵道網ヲヤルトキニ致シタコトガアリマス、其他ニモ彼ノ地方ノ調ヲヤル場合ニモウ一遍線路ノ調ヲ致シテ居リマス

○青柳郁次郎君 先日御尋致シマシテ大體判リマシタガ、尙ホ一二伺ヒタイ、第十二條ノ第一項ノ維持及修繕ハ道路管理者之ヲ爲スヘシト云フ中ニハ、改築費ハ含マヌモノト解釋シテ宜シウゴザイマスカドウカラ改築ト云フコトノ維持ト云フコトノ見解ハ、實際問題トシテハ中々至難デアリマスガ、見ヤウニ依テハ軌道經營者ノ負擔關係モ大分變テ來マスガ、此改築ト維持ト云フコトノ區別ヲ明瞭ニ伺ッテ置キタイ、ソレカラ橋梁ノ改築ノ場合ニ於テ、木橋ヲ架ケル場合ト、石橋又ハ鐵道ヲ架ケル場合トハ、其工費額ニ非常ナ相違ガアリマシテ、負擔關係ニ於テ、當業者ニ多大ナル影響ガアルドラウト思ヒマス、サウ云フ場合ノ負擔ハドウ云フコトニナリマスガ、大體ノ事ヲ伺ッテ置キマス

○堀田政府委員 此「維持及修繕」ト云フ文字ノ意味ニ就テハ、過日青柳君ノ御問ニ御答致シタ通りデアリマス、而シテ橋梁ノ改築ヲ爲ス場合ニ於ケル、負擔ノ關係ハ如何ニ定メルカト云フコトデアリマスガ、是ハ一般ノ規定ニ依リマシレバ、大體軌道ノ爲メニ要スルモノハ軌道業者、其以外ノ道路ノ工事ノ爲メニ要スル費用ハ、道路管理者ガ負擔スルコトニナリマス、而シテ普通ノ軌道ダケナラバ格別、サウ大ナル載セル力ヲ持タナクテモ宜イガ、一般交通上ノ重イ物ガ通ルヤウナ所デ、橋全體ヲ丈夫ニスルト云フヤウナ場合ニ於テハ、自ラドレダケノ程度ニ軌道業者ヲシテ負擔セシムルカト云フコトニ就テハ、道路監理者ト軌道業者ト、ソレノ「打合ヲシテ定メルコト」ニナラウト思ヒマス、ソレニ就テ尙ホ議論ガアレバ、其上ノ監督官廳ニ於テ然ルベク裁定スレバ宜イト思ヒマス

○青柳郁次郎君 十二條ニハ改築ハ含マヌモノト解釋シテ差支ナイノデアリマスガ
○堀田政府委員 是ハ改築ハ含マセナイ積リデアリマス
○青柳郁次郎君 ソレカラ二十六條中ニハ、三十六條第二項ノ並行ノ場合ノ補償ニ關スル規定ガ無イノデ、此規定ハ實ハ軌道ノ方デハ、餘リ活用ノ場合カ少ナイノデアリマスガ、實際ニハ起ルコト、思ヒマス、規定ノ引用サレタモノガ無イノデアリマスガ、如何ナモノデアリマセウカ

○堀田政府委員 只今ノ點ハ軌道業者ニ重大ナ關係ガアリマスノデ、大ニ改築致シタノデアリマスガ、地方鐵道法三十六條ノ二ハ、一面カラ見レバ補償ノヤウナモノデアラガ、他ノ一面カラ見レバ、何ダカ補助ノヤウナ性質モ持ッテ居ル、一割五分利益ノアツタ會社ノ傍ラニ國有鐵道ガ出來テソレ

ガ爲ニ八分ニナッタ九分ニナッタト云フ場合ニハ、補償セラレル、サウ云フ關係デ一面ハ補助ノ性質ヲ持ッテ居リマスノデ、ドウモ補助ト補償ノ合ノ子ノヤウナ規定デアリマスカラ、特ニ規定シタクデモ宜カラウ、之ヲ規定スルト云フ鐵道省ノ方針デアレバ規定シテモ差支ナイノデスガ、豫算ノ關係等デ、鐵道省ニ於テ今俄ニ同意ヲ表シ難イト云フコトデアリマシタノデ、政府ノ案トシテハ、其規定ハ置カレナイコトニナッタノデアリマス

○青柳郁次郎君 サウスルト並行シタ場合ニ軌道ノ方ノ維持ガ出來ナイト云フコトニナルト、何トカ規則以外ニ救済方法ガアルノデアリマセウカ
○堀田政府委員 只今ノ御尋ノ如ク維持ガ出來ヌト云フ場合ニハ、三十六條其モノニ依テ買上ヲ求ムルコトガ出來マス、其方デ救済ガ出來ルト思ヒマス

○青柳郁次郎君 是ハ條文ニハ關係ハアリマセヌガ、軌道ニ關係スルコトデ、軌道ト自動車ノ並行ノ場合デアリマスガ近頃地方ニ於テハ自動車營業ガ非常ニ發展シテ參リマシテ、軌道ハ大ナル打撃ヲ被ッテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレデ軌道業者トシテハ先願權ト云フヤウナモノヲ認メテ置イテ戴イテ、自動車ノ經營セザル場合ハ仕方ガナイノデアリマスガ、是等ニ對シテハドウ云フ御考デアリマセウカ
○堀田政府委員 近頃自動車ノ發達ニ伴ヒマシテ、線路ヲ定メテ一日ニ數回若ク數十回反覆シテ往復シ、人間及貨物ノ輸送ヲ爲スト云フコトガ起ッテ參リマシタ、之ニ對スル軌道業者ノ受ケル影響ノ少ナイト云フコトハ、豫テ耳ニ致シテ居リマス、其爲メニ內務省デハサウ云フ場合ハ特許ニ準ジテ、內務省マデ一々持出サセテ、許否ヲ決定シヤウト云フ議論モアッタノデアリマス、併シ事務簡捷ヲ尙ブ今日、ドウモ乗合自動車ノ營業マデ本省デ干涉セバナラヌト云フヤウナコトデハ、甚ダ困ルト云フ事情ガアリマシタノデ、地方長官ニ其方針ヲ示シテ、既設軌道トノ關係ヲ能ク考慮シテ許否スルヤウニト言ッテヤッテ居リマス、同時ニ許可シタ場合ニハ、今日マデ警察ノ方デ許可致スノガ例デアリマスガ、許可致ス場合ニ於テハ、能ク軌道ヲ監理スル土木課ノ方ト打合せテ、審理スルヤウニト云フコトヲ通牒シテアリマス、許可シタ上ニハ其旨ヲ報告スルコトニシテ、其報告ヲ只今徴シテ居リマス、ソコデ何所ニドウ云フ自動車業ガ許可ニナッタト云フコトハ分ルヤウニナッテ居リマス、事前ニ於テ許可權ヲ此方ヘ收メテマデヤル必要ハ無カラウト考ヘテ居リマス

○委員長(米田稜君) 岡田君、此際御質問ガアリマスレバ……
○岡田伊太郎君 軌道法ハ道路法ノ地方ニ關係ガアリマシテ、主トシテ道路面ヲ使用スル爲メニ內務省ノ所管デ

アル、ソコデ私ノ伺ヒマス事ハ、一寸鶴澤君ノ御説ニ對シテ申スヤウニナリマシテ洵ニ妙ダゴザイマスガ、私ハ道路法ヲ主トシテ見ル上カラ、矢張鐵道ノ監督ヲシナケレバナリマセヌケレドモ、寧ろ土木局ニ鐵道ノ專門知識ヲ有シタ方ヲ置イテ、同一ノ下ニ監督ヲシテ戴ク方法ガ無イカト云フ考ヲ持テ居リマス、ソコデ私ハ專門ノ知識ガアリマセヌカラ、條項ニ就テ一々御尋スルコトハ致シマセヌガ、實際ニ於テ色々サウ云フ場合ニ遭遇シテ居ルコトガアリマス、ソレデ只今御伺致シマスノハ、此軌道條例ガドノ程度マデ鐵道法ニ依テ監督セラレテ居ルウ、ドノ程度カラ道路法ニ依テ行クカ、此事ヲ御伺シタイノト、ソレカラハ寧ろ抽象的デナク、現在此軌道法ヲ施行ニナリマスルコト云フ、忽チ之ニ困ル會社モ出來テ來ルト思フ、先刻土木局長ノ御答ノ中ニ、軌道法ハ所謂軌道業其者ニ對シテ、主トシテ出來テ居ルト云フ御説デアッタ、私ハ是ハ道路法ヲ重ズル爲メニ出來テ軌道法デアッテ欲シト思フ、ト申シマスノハ、是ハドウシテモ道路ノ管理、道路ヲ重ズルコト云フ方カラ見タ軌道ノ仕方ト、ソレカラ鐵道專門ノ所謂見所ヲ以テ編成サレルトハ、大分趣ガ違フト思フデアリマス、一例ヲ申シマスルコト云フ、軌道ハ道路ノ中心ニ數ヶノカ、或ハ成ベク片寄セテ數ヶノカ、是等ノ事ハ私ハ存ジマセヌガ、今私ノ申シマスノハ、道路ノ中心ニ數ヶノカ、軌道ヲアリマス、是ハ如何カ方法ヲ以テヤッタナラバ、サウ云フ事ヲシナイデモ宜イト思フ、鐵道デアリマスカラ或程度迄高ク致シマシテ、サウシテ其ノ上ヲ軌道ガ通テ居ルデアリマスカラシテ、電車ノヤウニア、云フ石ヲ數ヶ必要ハアリマセヌ、少シ高イ所ニ線路ガアルデアリマスカラ、途中カラ向側ヘ踏切コトハ出來ナイノハ勿論、踏切ノ所デモ非常ニ不便ヲ感ジテ居ル、是ハ道路ノ沿線ニ居ル人ハ、道路ヲ重イ荷物ヲ曳イテ馬ヤ車デ歩カナクテモ、其軌道ヲ使フカラ、是等ハ幾ラカ緩和サレデアラウト云フ觀念モ起キマスケレドモ、事實ハサウ云フ所モアリマス、初發點カラ終著點迄殆ド途中ニ關係ノ無イノモ、其附近ノ沿線ニ居ル住民ハ、全ク之ヲ此頃ノ新シイ言葉デ言ヒマスルコトマア怨府——怨線トモ言ヒマス、非常ニ喧嘩ヲシテ居ル、サウスルト云フト其鐵道ヲヤッテ居ル會社ト住民トハ始終相反目シテ、時ニ依ルト荷物ヲ託シタイトキニモ、アンナモノニ頼マナイト云フコトニナル、是ハ極端ナ話デアリマス、ソレデ私共素人デ考ヘマス、ソナナ事ハシナクテモ、少シ費用ヲ投ジタナラバ、是ハ主ニ水ガ上ニ來ルトカ、或ハ雪ガ降ルカラ——北海道ノ事デアリマスカラ、雪ノ爲メニ道路ガ冒サレタ時分ニ、高イ方ハ非常ニ便利デアルカラシテ、ソレデ土地ヲ盛ルノデアリマスカラ、其下ニ排水ヲ設ケレバ宜イデアリマス、デンソレヲセズシテ、唯ダ土ヲ幾ラカ高く盛テ間ニ合シテ居ルノデヤ

ナイカト考ヘマス、是等カラ申シマス、今ノ土木局長ノ御説ノ道路法ノ——軌道法ノ爲メニ溝ヲ拵ヘタト云フコトニナテ、洵ニ迷惑デアリマス、何モ私ハ地方鐵道ノ開發ヲ——軌道ニ對スル發展ヲ彼此申ス者デアリマセヌ、無論ソレハ大ニ此進歩ヲ希フノデアリマシテ、過日來鐵道法ノ補助法ニ於キマシテモ、私ハ修正ニ對シテ大賛成ヲシタ者デアリマス、ソレデ要スルニ何モ所管爭トカ、或ハ統一ヲ缺クト云フコトデアリマセヌケレドモ、軌道ノ爲メニ道路ガアルト云フヤウナ、奇觀ヲ呈スルヤウナ事ガアッテハ遺憾デアリマス、道路ノ一部ニ軌道ヲ拵ヘタ、斯ウ云フ事ニナリマセヌト云フトドウモ道路ヲ鐵道即チ軌道ノ爲メニ、假リニ申シマス、濫用シタト云フヤウナコトデアハ、洵ニ道路法ニ對シテ遺憾ガアルデアリマス、ソレデ何分私ハ極端ニ之ヲ是非鐵道ノ所管ニ取ツテシマツテ、總テ軌道ヲ敷設スル場合ニ、道路法ニ委任シテヤッテ戴キタイト云フコトハ申シマセヌガ、少クトモ道路ト云フモノハ活キテ能ク運用サレテ居ルノニ、其軌道ガ出來タ爲メニ、此道路ガ死シマウト云フヤウナ場合ガ、往々ニシテアルノデアリマス、其實例ヲ申シテモ宜シウゴザイマツガ、ソレ程ノ事ハナイ、皆サン御關係ノ御方ハ實際ニ逢着シテ居ラレコトデアラウト思ヒマスカラ、私ハ如何カ斯ウ軌道ノ方面、或ハ鐵道ノ方面ノ御方ニ對スル反對論デモ持ッテ質問致シタヤウデアリマスルガ、サウデナイ、實際問題ニ就テ私ハ御尋シタノデゴザイマスルカラシテ、ドウゾ御所見ノ在ル所ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○堀田政府委員 只今御話ノ點ハ一々御尤デアリマス、確ニ一面ノ眞理ガアルト考ヘテ居リマス、併ナガラ先程鶴澤君ノ言ハレタノモノ一面ノ眞理ガアルノデ、私共兩方面カラ見テ、此軌道法ハ最も宜イト考ヘマスノデ、固ヨリ道路ノ補助機關トシ、道路ノ上ニ敷設スル、道路ガ本體デアッテ、其ルニ敷設スルノデアリマスルカラ、其道路交通ノ障害ニ出來ルダケナラヌヤウニシヤウト云フノデ、今ノ道路ニ敷設スル場合ニハ、路面ト全ク同ジ高サニ總テサセルト云フヤウナコトヲヤッテ居リマス、ヤッテ居リマスルケレドモ、如何セシ此技術者其他ノ不足カラシテ、十分監督ガ行届キマセヌ結果、或ハ所ニ依テハ占有軌道ノ關係ヲ有シテ居ル所ヲ往々見受ケル、ソレハ今後出來ルダケ十分ニ監督シテ、道路ノ交通ノ上ニ支障ヲ來サヌヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ此所管ノ事ニ就キマシテハ、實ハ兩方面カラ見テ今日ノ程度ガ宜カラウト思ッテ居リマスノハ、道路ノ上ヲ通ッテ道路ノ上ニ軌道ヲ敷クト云フヤウナ、道路ニ直接間接關係ヲ持ツ工事等ニ就キマシテハ、鐵道省ト打合フス際ニ、内務省ノ意見ニ最も重キヲ置イテヤッテ居リマス、運輸ト云フ方面カラハ、内務省ニ於テ智識ノ無イ爲メデアリマスルガ相談ヲ致シマスルガ

主トシテ鐵道省ノ意見ニ依テ決スル、兩々相俟ッテ、極メテ適當ニ仕事ヲ處理シテ行ッテ居ル次第デアリマスカラ、左様御承知置テ願ヒタイト思ヒマス

○岡田伊太郎君 イヤサウデアリマセウ、サウシテ私モ其程度ニ於テ道路法ガ主デアルト言ウテ戴ケバ安心スルノデアリマセド、ウセ此軌道法ノ如キモ、大型ノ機關車ヲ最大速力ヲ以テオッ飛バスト云フコトハ無イノデアリマスカラ、是ハ主トシテ所管爭ト云フヤウナ問題デナク、土木局デ見ラレタ所謂道路ト云フモノヲ、主トシテ貫フコトガ妥當デアラウト思フ、ソレデ尙ホ此場合ニ伺ッテ置キマスガ、今是ガ施行サレマスルコト云フト、只今ノ規定ニ依ラナケレバナラヌヤウナモノデアルト云フト、實際ニ於テ運轉セシムルコトガ出來ヌヤウナ狀態ノモノガアリマス、是等ハ所謂新法ニ依テ改造ヲ命ゼラレ、若シ之ニ應ジナケレバ、運輸事業ノ中止マデモ命ゼラレ、ト云フ御考デアルヤ否ヤ、是モ程度ノ問題デアリマセウガ、屹度此軌道法ガ發布セラル、ト云フト、一層八釜シクナッテ、是マデハ軌道會社ガ橫暴ニ勝手ノ事ヲシテ居タガ、八釜シイ事ガ出來ルト思ヒマス、此場合ニハ地方長官ガソレ——御處置ナサレノデアリマセウガ、本省ニ於ケル其等ノ取締ニ就テハ、ドウゾ御考デアリマス、是モ具體的ノ御答ハ至難デアリマセウガ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○堀田政府委員、此軌道法ハ、大體ニ於テ從來ノ取扱振ヲサウ改メテハ居ラヌノデアリマシテ、從來特許命令等ニ依テ命令シテアッタ事項ヲ集メテ、一面之ヲ法律ノ上ニ現ハシタト云フコトガ、極メテ適當ノ言葉ト思フ位ノコトデアリマス、故ニサウ大ナル支障モ本法ニ於テ起ラヌシ、又起サセヌコト、思ヒマス、此法律ガ實施ニナレバ、一層監督ノ十分ノ點ハ十分ニシ、此法制定ノ精神ニ副フヤウニ努メタイ考ヲ持ッテ居リマス

○佐々木平次郎君 私ハ極ク簡單ニ二三御尋シテ見タイト思ヒマス、本法ニ依テ軌道敷設希望者ガアッタナラバ、道路ノ幅員ハ何間以上ノモノニ御許ニナル御考デアリマス、又本法ノ施行區域ノ中ニハ、各植民地モ包含サレテ居ルノデアリマス、カモウツハ第十八條ニ國又ハ公共團體ニ於テ公益上ノ必要ニ因リト云フコトガアリマスガ、軌道敷設ヲスル際ハ、無論公益ト云フコトガ含マシテ居ラヌケレバナラヌト思ヒマスガ、更ニ公共團體ニ於テ公益上ノ必要ト云フノハ、如何ナル場合ヲ指スノデアリマス、之ニ就テ實例ノ一ツデモ、斯ウ云フ場合ト云フヤウナコトヲ御示ニナルコトガ出來マスレバ、ソレヲ承リタイ、此三點ヲ伺ヒマス

○堀田政府委員 軌道ノ特許ヲ爲ス場合ニ於ケル道路ノ幅員ハ、其道路ノ種類ニ依テ、從來ハ交通ノ實際カラ見テソレ——決定シテ居ルノデアリマス、隨テ場合ノ田舎トカ、

府縣ノ郡道ノ如キニ至テハ、極ク狭イ道路ニモ簡單ナ軌道

ハ特許シテ居ルノデアリマス、現ニ千葉縣ノ野田ノ人車鐵

道ノ如キハ、人家連擔ノ場所デ四間、人家連擔デナイ場所

ニ於テハ三間ノ道路ニ二呎六吋ノ軌道ヲ許シテアリマス、

又茨城縣ノ笠間人車軌道ノ如キハ、府縣道デゴザイマスル

ガ、人家連擔ノ場所ニ於テ四間五分ト云フヤウナ、極ク狭

イ道ニ許シテ居リマス、其他三間位ノ所デモ許シテアル所モ

アリマスルガ、大體近來自動車ノ如キ極メテ幅ノ廣イ交通

器具ガ發達シテ參リマシタノデ、道路ノ幅員モ隨テ相當ノ

廣サヲ保タシメナケレバナラヌト云フ考カラシテ、從來ヨリハ

幅員ノ點ニ就テハ、幾分擴メル氣味ノ注意ヲシナケレバナラ

ヌト云フ考ヲ持テ居リマス、東京市內ノ道路ノ如キ、從來

ハ九間幅ノ道路ニハ複線ヲ許シテ居リマシタガ、ソレガ三四

年前ニ十一間ナケレバ許サナイコトナリ、最近ハ十二間以

上デナケレバ、ドウモ狹サヲ感ズルダラウト云フヤウナコトデ、

現ニ都市計畫法ニ基ヅイテ、東京市內ノ道路ノ新設改築

ヲ爲ス場合、電車ヲ敷設セシメントスル道路ハ、皆十二間

ト云フコトニヤツテ居リマス、サウ云フ風ニ道路ノ幅員ニ就テ

ハ、其場合々々ニ依テ決定スルヨリ致方ナイト考ヘテ居リ

マス、次ニ此十八條ノ國又ハ公共團體ニ於テ公益上ノ必

要ニ因リ軌道ノ全部又ハ一部ニ云々トアル、此公益ニ因リ

ト云フ場合ハドウ云フ場合カト云フト、是ハ從來ノ例ニモ

澤山アリマス、東京市ガ私設ノ電車ヲ買収シタ場合トク、

又最近ニ於テ橫濱市ガ買収スルコトニナリ、既ニ許可ヲ與

ヘテアリマスルガ、詰リ軌道會社ノ經營ニ市ノ交通機關ヲ

託シテ置テハ、十分市民ノ公益ヲ圖ル譯ニ行カヌ、モウ少シ

改良シ、モウ少シ運轉ヲ良クシヤウト云フヤウナ場合ニ於テ

ハ、公共團體ガ買収シタイト思ヘバ買収セシムルト云フ考デ

此十八條ノ規定ガ出來テ居ルノデアリマス、最モ之ニ就テ

ハ主務大臣ノ認可ヲ必要條件ト致シテ居リマスカラ、主務

省ニ於テ此買収ニ方リマシテハ、各種ノ條件其他ヲ篤ト審

査シテ許可ヲ決スル考デアリマスルノデ、軌道經營者ニ向ッ

テモ酷ニナルコトモ無カラウシ、又公共團體ガ割得ヲスルコ

トモナイヤウニ努メテ居リマス

○委員長(米田稜君) モウ御質問ハアリマセヌカ—無イ

ヤウデアリマス、仍テ本案ハ是ニテ質問ヲ終了致シマス、尚

ホ本案ノ討論ハ明日ニ讓ルコトニ致シタイト思ヒマスガ、御

異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(米田稜君) ソレデハ左様ニ致シマス—次ニ御

諮リ致シマスガ、茲ニ御承知ノ朝鮮ト樺太カラ出テ居ル案

デゴザイマス、朝鮮ノ方ハ一案、樺太ノ方ハ法律改正案ト

合セテ二案出テ居リマスノデス、朝鮮ノ方カラ始メルコトニ

致シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(米田稜君) 然ラバ朝鮮私設鐵道補助法案ニ

就テ、朝鮮總督府政府委員ヨリ御説明ガアリマス

○大塚政府委員 朝鮮鐵道ノ普及ガ、其開發上ニモ又統

治ノ全般ノ上ニ於テモ、極メテ急務デアアルコトハ申スマデモ

ナイノデアリマス、政府トシテハ其主要ナル幹線ニ就テ、財政

ノ許ス限リ其施設ニ努力シテ參リマシタガ、今日迄ノ所ニ

於テ、僅ニ千二百哩ノ國有線ヲ敷設シタニ過ギナイノデア

リマス、今後ニ於テ國費ヲ以テ敷設スベキ主要幹線ノ豫定

線路ダケニ致シマシテモ、尙ホ數億圓ノ金ヲ要スルノデアリ

マス、左様ノ次第デ、地方ノ經濟的ノ鐵道マデ國費ヲ以テ

敷設スルコトハ、遠キ將來ハイザ知ラズ、當分見込ガナイノ

デアリマス、其爲メニ斯様ナ鐵道ハ、民間ノ資本ヲ以テ敷設

スル方針ヲ執ツテ居リマスガ、此地方的經濟的線路ト申

シマシテモ、大體ニ於テ鐵道ガ普及サレテ居リマスル内地ト

違ヒマシテ、朝鮮ノ地方鐵道ナルモノハ、矢張其内容ヲ異ニ

シテ居ルノデアリマス、即チ其距離等モ非常ニ長イノデアリ

マシテ、現在許可サレテ居ル鐵道ヲ見マシテモ、百五十哩ニ

百哩ト云フヤウナ長距離ノ鐵道ガ澤山ニアルノデアリマス、

ソレデアリマスカラ之ヲ民間ノ資本ヲ以テ敷設スルト申シマ

シテモ、地方住民ノ資力位キデハ、到底敷設ヲ見ル譯ニ參ラ

ズ、内地ノ豐カナ資本ヲ朝鮮ニ呼寄セル必要ガアルノデアリ

マス、ソレデ昨今朝鮮ノ内情ハ、餘程内地ニモ知ラシテ居リ

マス、ケレドモ、企業者ガ投資スルニハ、マダ中ニ其事情ヲ究

メテ、オイソレト金ヲ出セナイト云フ點モアリマスノデ、此補

助ノ方法ニ就テモ、從來内地ノ地方鐵道ノ補助ト違ッ

補助ノ方法ヲ執ツテ居タノデアリマス、即チ内地デハ建設費

ニ對シ五歩ノ補助ヲシテ居リマシタノニ對シ、朝鮮ニ於テハ

鐵道ノ拂込資本金ニ對シテ、八歩ノ補助ヲスル方法ヲ執ッ

タノデアリマス、併ナガラ此補助方法モ毎年豫算ニ計上シ

マシテ、御協賛ヲ得マシテ一年限リノ補助トシテ居リマス爲

メニ、補助ノ方法ガ極メテ不確實デアルト云フヤウナ不安ノ

聲ガ高イノデアリマス、ソレデ先年一應補助案ヲ出シタノデ

アリマスガ、會期切迫ノ爲メニ御協賛ヲ得ルニ至リマセヌ、

今回更メテ茲ニ提出シタノデアリマス、本案ニ依リマスル補

助ノ方法ヲ申シマスルト、第一ハ補助ヲ與フル此企業者ヲ、

道ノ經營ニ要スル拂込株金額ヲ標準ニ取リマシタ、第三ハ補助ノ率デアリマスガ、是モ内地ト變リマシタハ八歩—鐵道益金ガ拂込株金額ニ對シテ八歩ニ達セザルトキニハ、其不足ヲ補助スルノデアリマス、サウシテ拂込株金額ニ對スル八歩ノ配當ヲ大體ニ於テ補助シタ、斯ウ云フ趣旨ニ出來テ居リマス、隨テ若シ社債ヲ起シ、又ハ借入金ヲ以テ鐵道ヲ建設シタル場合ニ於テハ、其利息ハ八歩マデハ補助致シマシテ、サウシテ拂込株金額ノ八歩配當ノ補助ヲ確實ニ致シタルデアリマス、尤モ拂込株金額又ハ社債ニ依リテ建設シタル鐵道ニシテモ、損失ニ對シテハ補助シナイ方針ヲ執リマシタ、此點ハ内地ノ補助法ト同一デアリマス、ソレカラ第四ハ補助ノ年限ハ會社ノ創立ノ時、又社債ヲ起シタ時カラ十年間、斯ウ云フコトニ致シマシタ、大體補助ノ方法條件ニ就テハ右申上ダヤウナ次第デアリマスガ、此拂込資本金額ニ對スル補助ノ方針ヲ執リマシタ結果ト致シマシテ、事ニ依リマスルト補助金ヲ貫ツテ、鐵道ガ出來ナイト云フヤウナ場合ガ生ジナイトモ限ラナイノデアリマス、其爲メニ左様ナ場合ニ於キマシテハ、既ニ交付致シマシタル補助金ヲ償還セシムルコトニ致シマシタノデアリマス、此法案ノ第一ノ骨子ハ右様ナ次第デアリマス

○委員長(米田稜君) 一寸御諮リ致シマスガ、次ニ樺太地方鐵道補助法案外一件ノ御説明ヲ願フコトニ致シタ、内容ハ此補助法案ト殆ト同一ラシク考ヘラレマスカラ、併セテ御質問下サルコトニシテハ如何デアリマスガ

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○永井政府委員 樺太地方鐵道補助法案ニ就テ説明致シマスガ、此法案ハ只今朝鮮ヨリ申上マシタノト殆ト同一ノ性質デアリマシテ、深ク申上グル必要モ無イヤウデアリマスガ、一言申上ゲテ置キタイノデアリマス、元來樺太ノ開發ヲ圖リマスニハ、交通機關ノ設備ガ最モ先驅ヲ爲シテ居ルト考ヘマス、就中鐵道ノ普及ヲ圖ルト云フ事ニ就テハ、相當力ヲ注ガナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスガ、然ルニ樺太ノ現狀ヲ申シマスレバ、未ダ鐵道ノ普及ニ就テハ、甚ダ遺憾ニ思フ點ガ尠ナクナイノデアリマス、而シテ今日マデ樺太廳ガ執ツテ居リマシタ方針ト致シマシテハ、出來得ルダケ公債政策ヲ以テ普及完備ヲ圖リタイト考ヘテ居リマシタケレドモ、財政ノ都合ガゴザイマシテ、公債政策ナリ或ハ樺太廳ノ設立ヲ以テハ、到底樺太ノ鐵道ノ普及ヲ圖ルコトハ困難ト考ヘマシテ、今度民間ノ經營ニ待ツコトガ極メテ必要ナリト考ヘタノデアリマス、然ルニ民間ノ經營ニ委スト致シマシテモ、樺太開發ノ狀況ニ鑑ミマシテ、只ダ民間ノ企業者ノ經營ニ依テ、何等ノ補助若クハ補助等ヲ爲サズシテヤレト云フ現狀ニハナツテ居リマセヌノデ、ドウシテモ收支ハハセルニハ

樺大廳即チ政府ニ於テ相當ノ補助ヲスルト云フコトガ、急務デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレモ補助法案ヲ提案スルニ至リテ次第デアリマス、其内容ニ就テハ殆ド朝鮮ノ補助ト同ジデアリマシテ、拂込資本金ニ對シテ年八分ニ達スルマデ、登記ノ日ヨリ十年ヲ限リテ補助スル、尙ホ拂込資本金以外ニ社債若クハ借入金ヲ爲ス場合ニハ、其社債又ハ借入金ノ登記ヲ爲シタリヨリ、十年ヲ限リテ八分ノ限度トシテ補助スルコトニナリテ居リマス、尙又三條ニ規定シテアリマス、是ハ會社ノ方ノ側トシテノ恩典ニモナルノデアリマスガ、鐵道ヲ經營スル便宜ヲ圖ツタノデアリマス、最初ニ一區トシテ甲點ヨリ乙點マデ經營シテ居ルト、次ヲヤツテ居ル間ニ殆ド十年ノ期間ハ經過シテ行クノデアリマス、ソコデ各區ニ分レテスル場合ニ於テハ、前二條ノ規定ヲ適用スルト云フ、會社ニ對スル恩典ノ規定モ設ケタノデアリマス、其他内容ハ殆ド朝鮮ト同ジデアリマスカラ、爰ニ申上ゲルコトヲ省略致シマス

○委員長(米田稜君) 明治四十一年法律第三十五號中改正法律案ニ就テ、引續キ御説明ヲ願ヒマス
○永井政府委員 是ハ樺太ノ小學校ノ正教員ニ對シマスル退隱料及ビ遺族扶助料給與ノ途ヲ開ク爲メニ設ケタ法律案デアリマスガ、樺太ニ於テハ應立小學校ト稱シマシテ、國費ヲ以テ設置シテ居ル小學校ト、部落共同ノ即チ部落費ヲ以テ經營シテ居リマスル小學校ト、之ヲ公立小學校ト致シテ居ルノデアリマス、然ルニ應立小學校ニ就キマシテハ、内地ノ小學校教員同様ニ、退隱料及遺族扶助料ヲ給サレルコトニナリテ居ルノデアリマスガ、未ダ部落共同ノ費用ヲ以テ設置シテ居ル公立小學校ニ對シテハ、恩給等ノ規定ガアリマセズデ、是ハ均シク國民教育ヲ分擔致シテ居ル教員ニ對シテ差別ノ待遇ヲスルガ如キハ、甚ダ遺憾デアリマス、殊ニ是等ノ恩典ノ無イ爲メニ、教員ノ補充教員ノ採用ニ就テ非常ニ困難ヲ感ジマシタノデ、今回更ニ是等ノ小學校ノ教員ニ對シテモ、應立小學校同様ニ恩典ヲ與ヘルヤウナ規定ヲ設ケタノデアリマス、條文ニ於キマシテハ、唯ダ「樺太應立小學校教員」ノ次ニ、「樺太公立小學校教員」ト云フノヲ加ヘルダケデアリマシテ、殆ド別段ニ説明ヲ要シマセズデアリス、唯タ附則ニ於キマシテハ、公立小學校ニ在職シタ年限ノ起算點トカ、或ハ轉職退職死亡等ニ關スル規定ヲ設ケタノデアリマシテ、殆ド文字ノ通りデアリマス、何卒御審議ヲ願ヒマス

○樺澤宇八君 先ヅ朝鮮ノ鐵道ノ事ニ就テ御尋致シマス、大體ハ大塚君ノ御説明デ諒解致シマシタガ、朝鮮ノ鐵道ヲ國費ノ及ビ限リカヲ入レルガ、及バザル所ハ私設ニ委セル、其私設ニ對スル補助ヲ此場合ニ定メルト云フコトデアリマスカラ、是ハ至極結構ナ事デアリマスケレドモ、朝鮮ガ現在ハ免ニ角ニモ、將來朝鮮ノ鐵道ヲ統一セラル、所ノ御考ヲ御持チニナリテ居リマスルカ、即チ鐵道政策ノ樹立トデモ申シマス、斯ノ如キ所ノ政策ヲ御立テニナリテ居ラレルノデアリマスルカ、若クハ現在ノ儘將來モ斯ノ如キ方針ハ立テナイ、即チ私設ノモノハ私設ノ儘ニ放任シテ置クト云フ御考デアリマス、其點ニ就テ一應伺ヒテ置キタイ
○大塚政府委員 朝鮮ニ於キマスル鐵道ニ就キマシテハ、元來是ハ私設ノ鐵道デアッタノデアリマス、幹線中ノ幹線トモ申シマスル京釜線ノ如キハ、京釜鐵道株式會社ノ經營ニ屬シテ居ラタノデアリマス、ソレハ内地ノ鐵道國有ノ議ガ決定サレマシタ後ニ於キマシテ、朝鮮ニ於テモ鐵道ハ大體國有ノ鐵道トスルガ適當ナリト云フ方針ノ下ニ、國有ニ決シタノデアリマス、爾來國有鐵道トシテ、先ヅ幹線カラ鐵道ヲ敷設シヤウト云フ方針デ掛テ參リマシタノデアリマスケレドモ、財政ノ關係カラ、國有主義ヲ強テ遂行シテ行クト云フコトガ出來ナクナタ、ト申シマス、ハ、財政ノ發達以上ニ朝鮮ノ開發ノ急務ナル其程度ガ進シテ參タノデ、隨テ出來マスナラバ財政ガ許サヌ場合ニハ、私設ノ鐵道ヲ以テシテモ、速ニ鐵道ヲ敷設スルト云フ方針ヲ執ツタガ、朝鮮統治ノ上カラ、又朝鮮ノ經濟ノ開發ノ上カラ適當デアルト云フコトニナリマシテ、今日ハ國有トシテレカラ民有ト併行シテ行クト云フ方針ヲ執ツタノデアリマス、今日ニ於キマシテ私設鐵道會社ニ許可致シマスル鐵道ノ中デモ、只今地方ノ經濟鐵道ト申シマスルガ、事實ニ於テハ或ハ幹線ト云フテモ差支ナイ程度ノ重要ナル線路モアルノデアリマス、斯ウ云フモノニ就キマシテハ、若シ國有ヲ以テ敷設スルコトノ急ヲ要スル鐵道ニシテ、其敷設ガ完成シマシタ曉ニハ、之ヲ國有鐵道ニシタイト云フヤウナ考モ持ツテ居リマスガ、全體トシテ全部ヲ國有ニスルト云フ計畫ヲ立テラカドウカト云フコトハ、公債ノ發行其他財政ノ關係ノ制限ヲ受ケマシテ、今日ニ於テ如何トモ決定シ難イ狀態ニナリテ居リマス

○樺澤宇八君 私設鐵道ハ今後尙ホ朝鮮八道ニ於キマシテハ交通上急ヲ要スベキ場所柄ガ澤山アルト考ヘテ居リマスガ、自然補助金額ノ程度ニモ影響ガアル譯デアリマス、政府ハ今後益、私設鐵道ノ敷設ノ出願アル場合ニ於テハ進シテ大體ニ於テハ、許可スル方針デアリマスルカ否ヤヲ、御尋致シタイノデアリマス、而シテ幸ニ此朝鮮八道ニ於キマスル鐵道ノ豫定線等ノ如キモノガアリマスレバ、御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○大塚政府委員 私設鐵道ヲ出願スル者ガアリマシタ場合ニ、之ヲ許可スル方針ナリヤ否ヤト云フ御尋デアリマスガ、是ハ線路次第ナノデアリマス、大體ニ於キマシテハ、出來得ル限り速ニ、出來得ルダケ澤山ニ、私設鐵道ノ敷設ヲ希望スルノデアリマスケレドモ、其線路ニシテ經營ノ見込ガ立タヌト云フヤウナ線路ニ對シマシテハ、必ズシモ漫リニ之ヲ許可スル譯ニハ參ルマイト思ヒマス、之ニ對シテハ一面ニ於テ補助費ノ制限モ多少受ケルコト、思ヒマスガ、此法案ニ於キマシテハ、一年二百五十萬圓以下ノ補助費ノ範圍内デ獎勵シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ朝鮮總督府ノ財政ノ關係カラ、先ヅ大體此程度ノ補助額ノ範圍ニ於テ進メテ行キタイト云フ考デアリマス、ソレカラ第二點ノ御質問ハ國有鐵道デアリマスガ、私設鐵道デアリマスガ
○樺澤宇八君 私設ト國有ト兩方……
○大塚政府委員 只今ノ所デアハ國有鐵道ノ豫定線路ト致シマシテハ、既ニ御協贊ヲ經テタル咸鏡線ノ幹線、詰リ元山カラ咸鏡北道ノ會寧ニ至ル線路デアリマス、其兩端ガ出來テ居リマシテ、真中ガ二百何十里カアリマスガ、其幹線デス、大體ニ於キマシテハ御手許ニ差上ゲマシタル鐵道網ニ入ッテ居リマスガ、其以外ニハアリマセヌ
○樺澤宇八君 私ハ實ハ補助金額ノ二百五十萬圓ト云フコトニ就テ、甚ダ少ナキ感ヲ持ツテ居リマスカラ、此質問ヲ出シタノデアリマス、私ノ甚ダ少ナキ感ヲ考ヘマスル理由ハ、申スマデモナリ朝鮮ノ現狀ハドウデアアルカト申シマスルト、時々各道ニ於テ起リマスル騷擾、又朝鮮ノ同化政策、之ヲ能ク世間ノ人ノ論議スル所ノモノハ、教育ノ及バザル事等ヲ以テ多ク論ゼラレルノデアリマスケレドモ、要スルニ朝鮮ノ同化政策ヲ現實ニ極メテ早く之ガ普及ヲ圖ルベキ途ト致シマシテハ、何デアラウカト斯ウ申シマスレバ、私ハ交通ヲ以テ、一番ノ捷徑ナリト考ヘルノデアリマス、朝鮮ノ所謂民ガ王化ニ浴セザル憾ガアルト云フコトハ、去ル者ハ日ニ疎シ、須ラク相接觸スルト云フコトガ、一番肝要ナ事デアルト考ヘルノデアリマス、邊鄙ナル所ノ鮮人モ、亦大塚君ノ如キ柔カナル言葉ヲ以テ能ク話ヲ遂ゲタナラバ、諒解ヲスル場合モ多ク有ルデアラウト思フ、鮮人中ニ於キマシテハ、幾代ノ總督、幾代ノ官人ト相見ユルコトノナリト云フ者ガ、極メテ多イノデアラウト思フ、是ハ一ツハ不逞鮮人トナリ、及擾亂等ヲ喚起スベキ動機トデモ申シマスルヤウナ場合ガ多イノデアルト思フ、此不逞鮮人ヲ能ク同化セシムベキ所ノ途ハ、自ら種々アリマセウ、教育モ可ナリ、又他ノ誘導ノ途モ種々アルノデアリマセウ、又朝鮮ノ役人諸君モ、此點ニ就テ須ク留意セラル、事ノ多イコトハ私認メマスケレドモ、我國ニ於テ能ク是ガ非難トナリ、又世界ノ人ノ注目ノ的トナリテ居ル朝鮮ハ、吾々ヨリ申シマスレバ、一日モ早く同化セシメテ成ベク平穩ニ歸セシメルト云フコトヲ日夜考ヘテ居ル譯デアリマス、此場合ニ於キマシテ、最モ能ク直接ニ最モ能ク捷徑ト致シマシテ同化スル策ハ、

私ハ此交通所謂鐵道ノ普及ト云フモノ程、最モ現實ニ最モ好イ事ハナカラウト考ヘルノデアリマス、即チ此度二百五十萬圓ノ金ヲ投ジテ、國費ヲ以テ及バズ所ノ鐵道ヲ私設ニ任セテ、之ヲ補助スルト云フコトハ至極結構デアリマスケレドモ、私ハ此金額ガ甚ダ少ナキヲ憾ムノデアリマス、惜ムノデアリマス、斯ノ如クニシテ此鐵道普及ヲ致シマシテモ、尙ホ十五年ニ及ビマシテ此表ニアルガ如キコトデハ、未ダ以テ其希望ノ一分ヲ達スルコト能ハズト思フノデゴザイマス、國費多端ノ折柄、朝鮮ノ總テノ施設ノ爲スベキモノ多クアルデアリマセウ、自ラ緩急ヲ圖ッテ此出デタルデアリマセウケレドモ、只今本員ノ申述ベマス所ノ意思ヲ御酌ミ下サルコトデアリナラバ、到底斯ノ如キ事ヲ以テ、朝鮮ノ全道ノ不逞鮮人ヲ能ク朝鮮ノ現狀ヲ恢復セシムベキ所ノ途ニハ達シナイト私ハ考ヘルノデアリマス、朝鮮ノ統治ノ局ニ當リマス所ノ諸君、即チ大塚君ノ如キ人ハ長ク朝鮮ニ居ラレマシテ、能ク朝鮮ノ山間僻遠交通ノ發達セザル所ノ多イコトヲ知ッテ居ルノデアリマスカラ、定メテ相當ノ交通ノ發達ヲ希望セラル、ノデアリマセウケレドモ、此案ノ提案ニ依テ見マスレバ、御満足サレテ斯ノ如キ提案ヲ見タコト云フコトハ、私ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマスガ、如何ヤナル考ヲ持テ居ラレマスルカ、此點ニ就テ明快ナ御答辯ヲ乞ヒタイト思フ、更ニ尙ホ附加ヘテ御質問致シタイト申シマスノハ、朝鮮ノ鐵道ヲ敷設シマス所ノ大半ハ、内地ノ資本ヲ注入スル御考デアリマセウ、又サウ云フコトニナッテ居リマセウガ、御承知ノ昨今ノ財界逼迫ニ、今日此私設鐵道ノ敷設ヲセント致シマシタ所ノ計畫ノ齟齬シタルモノ、又其成立セル所ノ私設鐵道會社ノ解散セントスルモノアルヤウニ聞イテ居リマス、是ハ朝鮮ノ交通發達ノ上ニ於テ遺憾トスルノミナラズ、國家ノ爲メニモ洵ニ残念ナ事デアリマスガ、是等ニ對シマスル朝鮮總督府ノ執リマスル御考、又實際サウ云フ會社ガアリマシタナラバ、其會社ノ狀況ヲ一應御説明ヲ乞ヒタイト思ヒマス

○柿原政一郎君 今鶴澤君ノ御話御尤ト思ヒマスガ、朝鮮デ既ニ鐵道會社ヲ拵ヘテ、未ダ此經濟界ノ激變ノ爲メニ、其儘ニシテ解散セントスルヤウナモノアルガ、是等ハ既ニ八朱ノ補助ヲ得ルト云フコトガアル、是ガ未ダ工事ニ著手セスト云フ有様デアアル、況ヤ内地ノ地方鐵道ガ今回補助ノ改正ニ依リマシテ——マダドウナルカ分リマセウガ、既ニ衆議院ヲ通過致シマシタ、ソレニ依テ見レバ七朱ノ補助ヲ得ラレルコトニナッテ居リマスカラ、内地ノ地方鐵道ニ投資シテ七朱ノ利廻トナルト云フナラバ、今日現ニ八朱ノ補助ヲ得テ居ルモノハ、會社ヲ拵ヘテモ未ダ工事ニ著手シナイ、或ハ解散セントシテ居ルモノモアラントシテ居ルモノ、僅ニ一朱ノ遠デ朝鮮ニ内地ノモノガアルニ拘ラズ、又樺太モ同じ事デスケ

レドモ、其邊ニ對シテ内地カラ投資スル者ガアルト云フ御見込デアリマス、是デハ心細イヤウニ思フノデ、今鶴澤君ノ御質問ト稍、似テ居ルヤウニ思ヒマスカラ、御一緒ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大塚政府委員 鐵道ノ敷設ガ朝鮮ノ統治ニ及ボス影響、又其必要ナル點ニ關シマスル鶴澤君ノ御意見ニ就キマシテハ、私ハ全然同感デアリマス、勿論此補助ノ制限額ヲモット澤山ニシマシテ、早ク鐵道ヲ普及セシムルト云フコトハ、私共希望スルノデアリマスケレドモ、此制限ハ一面ニ於キマシテ財政上ノ關係カラ、一面ニ於キマシテ地方ニ於ケル勞力、建設材料ノ景況、其他建設上ノ狀況カラ考ヘマシテ、先ヅ大體此程度ノモノデ今日デハ適當デアラウ、斯ウ云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス、併シ經濟狀況ガ變リマシテ、尙ホ企業者ガ非常ニ澤山出マシテ、此補助額デ以テハ、到底一般ノ企業ニ對シテ補助ヲスルコト出ナク、二ツフヤウナ場合ガアリマシタナラバ、又其時ハ財政ノ鹽梅ニ依リマシテ、此補助額ヲ増シテモ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ第二ノ御質問ノ會社ノ解散シタモノガアルカ、若クハ解散セントスルモノガアリハセヌカ、現在許可ヲ受ケ、補助ヲ受ケテ居ル鐵道會社ノ狀況ハ、如何デアアルカト云フ御質問ノヤウニ承リマシタ、サウ云フ會社ハ解散シタモノガ一ツ、解散ノ決議デシテ、マダ其效力ノ發生セヌモノガ一ツアルノデアリマス、其中解散シマシタノハドウ云フ事情デアアルカト申シマス、丁度許可ヲ受ケマシタル線ト、政府ニ於テ計畫シマシテ、實ハ總督府トシテハ、中央マデ持出シタノデアリマスガ、公債政策ノ關係カラ承認サレナカタ、平元鐵道ノ線路ト重複若クハ並行スルモノデアリマス、ソレ故ハ民營デアル必要ガナイト云フノデ、會社ガ任意ニ解散シタノデアリマス、今一ツノ解散セントシテ居ル會社ハ、是ハ東京ノ知名ノ人ノ發金デアリマシタ、丁度昨年三月經濟界動搖ノ餘波ヲ受ケマシテ、株式ガ非常ニ下リマシタ、餘リ好クナイ動機カラ其株ヲ買收シタ者ガアリマシタ、其買收シタ値段ヨリモ解散シタ方ガ餘計金ガ取レル、詰リ二圓ツ、買收シタモノガ、解散ヲスルト一株ニ付キ四圓幾ラ、補助金ヲ返還シテモ四圓幾ラト云フ金ガ取レルト云フヤウナコトカラ、解散說ガ非常ニ盛ニナリマシテ、會社ノ發金人重役立ニ於テモ、之ヲ喰メル方法ヲ講ジタヤウデアリマスガ、何ト申シマス、權利株屋トデモ申スヤウナ人ノ爲メニ、今日デハ殆ト如何トモシ難イ狀態ニナッテ居ルヤウニ、是ハ私ガ聞イタ過ギマセヌ、解散ノ決議ハ致シマシタケレドモ、マダ其會社カラ解散ノ決議認可ノ申請ハ出テ來マセヌ、之ニ對シテ總督府トシテハ、出來ナラバ此會社ノ線路ガ有望デナイト云フ譯デアリマセヌカラ、繼續シ

テサセテヤリタイ考ヘテ居ルノデアリマスガ、總督府トシテハ、マダ願書モ出テ來ナイ位ノ程度デアリマスカラ、態度ヲ決セズニ居ル次第デアリマス、ソレカラ八朱ノ補助位デハ、朝鮮ニ投資スル者ノガ無イデハ、ナカト云フヤウナ、御尋ノヤウニ承リマシタガ、此點ハ現在ノ金利カラ申シマスレバ、單ニ金利タケヲ見ル人デアリマスナラバ、六ヶシカラウト思ヒマス、或ハ今日ニ於テハ、多少金利ヲ引下ゲルヤウナ傾向ガアリマスカラ、何トモ申サレマセヌガ、從來ノ有様デハ、今日ノ現狀ニ於テハ六ヶシイ、併ナガラ法律ハ一時的ノモノデアリマセヌ、今後永ク續イテ行クノデアリマスカラ、將來ノ金利ヲ考察スルト、必ズシモ此拂込金額ニ對シテ八朱ト云フモノハ、廉ニ失スルト云フヤウナコトハアルマイト考ヘテ居ル次第デアリマス、八朱ト決メマシタノハ、大體ニ於テ内地ノ預金ノ利子、若クハ朝鮮ノ預金ノ利子ヲ考察スルト同時ニ、預金利子、社債利子ノ間ヲ行クヤウナ程度ニ於テ、之ヲ決メマシタノデアリマス、内地ガ七朱デアアルカト云フ御說明デアリマシタガ、内地ニ於キマシテハ、建設費ニ對シテ五朱デアリマス、政府カラ出ス金ハ五朱シカ出サナイノデ、二步ノ違ガアリマス、朝鮮ノ方ハ八朱マデ行クノデアリマスカラ、政府トシテ出ス金ハ三步マデ餘計ニ出ス、思切テ出シタ考デアリマス、右様ノ次第デ八朱ト云フコトヲ決メマシタ

○鶴澤宇八君 樺太ノ事ニ就テ御尋ヲシテ見タイト思ヒマス、樺太ニ於テモ此補助法ノ第五條ニ、樺太ノ補助金ハ最高五十萬圓トスルト云フコトデアリマスガ、樺太ニ於キマシテ補助スベキ私設鐵道ガ出願サレマシタ、所ノ線路、若クハ其出願ニ及バザルモノト致シマスレバ、出願ノアツ場合ニ許可シテ、而シテソレニ補助スベシト思ハレル所ノ豫定線路ハ何所デアリマス、其御調ヲ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○永井政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、第五條ノ總額ハ最高五十萬圓ト致シテアリマス、此五十萬圓ト致シテアリマス點ニ就キマシテハ、マダ樺太ノ將來ニ於テ、施設致シタイ線路ハ少クナイノデアリマス、一面ニ補助利子ニ就キマシテモ、樺太ノ財政ノ上ニ大ニ考慮ヲ致サナケレバナラヌ事ガアリマスカラ、先ヅ此程度ヲ以テ止メマシタ、今回許サウト考ヘマス線路ハ、榮濱ヨリ國境ニ至ル線ヲ先ヅ以テ許シタイト云フ考デアリマシタ、其他ノ線路ニ就テハ、尙ホ十分考慮ヲ費シタ上ニ致シタイト思ヒマス、其等ノ線路ニ就テハマダ許サストモ許サヌトモ決メテアリマセヌ

○鶴澤宇八君 了解致シマシタガ、樺太榮濱ヨリ國境ニ達シマス線路ハ理論上ヨリ見テモ、極メテ重要ナル線路デアルト考ヘラレマス、竊ニ陸軍省ハ軍事費ヲ以テ、此榮濱ヨリ國境ニ至ル所ノ道路ノ改修費ヲ支辨サレタノデアリマスガ、今日薩哈連州ニ駐兵サレテ居リマス時ニ、冬期半歲

餘ノ間始ト交通杜絶ノ有様デアリマシタ、一ニ此樺太ノ榮濱ヨリ國境ノ道路ヲ通過スルヨリ外ナインデアリマス、斯ノ如ク必要ナル道路、必要ナル鐵道、既ニ必要デアラデ、政府既ニ軍事費ヲ以テ此道路ノ改修ヲサレタノデアリマス、既ニ半歲冬期間ヲ經過致シマシテ、非常ニ其冬期ノ交通ノ不便ハ、ドウシテモ鐵道ノ便利ニ待タナクハナラヌト云フコトハ、陸軍省ハ感ジテ居ル筈ニ相違ナイと思フ、此點ニ就キマシテ、樺太當局者ハ定メテ此鐵道ノ敷設ヲ、樺太廳ノ財政ノ許サザルノ結果ト致シマシテ、交渉サレタノデハナカラウカト斯ウ考ヘテ居リマス、本員ハ此時ニ於キマシテ、實ハ陸軍當局者ニ是等鐵道ヲ敷設セラル、事ヲ切望スルノデアリマス、其レドモ、茲ニ此補助法案ノ出デマシタコトヨリ見マスレバ、其事ノ行ハレナカッタト云フコトヲ推察スルニ難クナイノデアリマス、定メテ當局者ノ交渉サレマシタコトデアルト考ヘマスルカラ、此交渉ヲサレマシタ所ノ經過ニ就キマシテ、差支ナイ程度ニ於キマシテ、此場合ニ於テ一應御答辯ヲ乞ヒタイと思ヒマス

○永井政府委員 只今鶴澤君ノ御質問ニ對シ御答致シマスガ、榮濱ヨリ國境ニ至リマス鐵道關係ニ於キマシテハ、樺太廳ト致シマシテモ、陸軍省ニ於キマシテハ、必ず必要ナル鐵道デアラウト云フコトノ考ヲ以チマシテ、陸軍省ニ交渉シテ居リマスノデゴザイマス、然ルニ陸軍省ノ意見ト致シマシテハ、第一ニ於キマシテ、マダ榮濱ヨリ國境ニ至ル所ノ鐵道ハ、陸軍トシテ絕對ニ必要デアルト云フコトハ、今日申上ダ兼ネルト云フ事デアリマス、今一ツハ財政上ノ都合モアリマスノデ、到底陸軍省ノ方トシテハ、今日架設スルト云フ譯ニハ行カナイ、要スルニ陸軍省ハ其必要ノ程度ト、並ニ財政上ノ都合ニ依リマシテ、到底陸軍省トシテ之ヲ架設スルト云フ譯ニハ行カナイト云フコトヲ申シテ居リマスガ、樺太廳トシテハ甚ダ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマス、併ナガラ一方榮濱ヨリ國境ニ至ル現狀ヲ見マスレバ、獨リ陸軍トシテノ必要バカリデナク、拓殖上大ニ必要ト見マスノデ、陸軍省ノ架設ヲ待テ始メテ著手スルト云フ譯ニハ參リマセヌデアリマス、故ニ今拓殖上ニ在リテハ、一日モ之ヲ閑却スルコトハ出來マセヌ狀況デアリマスカラ、今日補助法案ヲ出シマシテ民間ノ私設ヲ獎勵シテ、一日モ早く此交通機關ノ普及完備ヲ圖リタイト云フノ趣意ナノデアリマシテ、其點ハドウカ御了承ヲ願ヒタウゴザイマス

○鶴澤宇八君 樺太長官ノ言ハレル通り、本員モ亦樺太ニ補助法ノ出來マスルコトハ、至極交通上ノ上カラ申シマシテモ、結構ナ事デアルト考ヘルノデアリマス、此只今申サレマスル所ノ線路ハ、謂ハバ將來樺太ノ幹線トシテ——中央貫通ノ線路トシテ、誠ニ必要ナ場所デアリマシテ、謂ハバ國有

線トデモ申スベキ線路デアリマスガ、一旦私設トシテ之ニ許可ヲ與ヘ、此私設鐵道ヲ敷設サレマシタ後ニ於キマシテ、樺太廳ハ財政ノ許サ場合若クハ公債政策ノ充分ニ行ハレ得ベキ場合ニ於キマシテ、其時ニ於キマシテハ、此鐵道ヲ樺太廳ニ買收スル所ノ考デアリマスルカ、其點ニ就キマシテ御答ヲ乞ヒタイと思ヒマス

○永井政府委員 御答致シマスガ、實ハ此鐵道ヲ許可スルニ方リマシテ、他日必要ナ場合ニ於キマシテ、即チ樺太廳トシテ之ヲ國有トシテ經營スル方ガ便宜デアリ、或ハ其他陸軍省等ニ於キマシテ、必要ナル場合ガ起ルデアラウト思ヒマスカラ、是非國家ガ必要ナリト認ムル場合ニ於キマシテハ、之ヲ買上グルト云フコトノ條件ヲ附シテ之ヲ許可スル積リデアリマス

○鶴澤宇八君 此場合序ニ御何致シテ置キタイと思ヒマスガ、鐵道敷設ニハ、極メテ重要ナル關係ヲ持テ居リマスルノデゴザイマスガ、炭田開發、樺太ノ炭田ヲ多年間埋藏セシメテ置イテ、内地ノ炭ヲ輸入シテモ樺太ノ工業ヲシテ居ルト云フノガ、現在ノ有様デアリマス、是ハ國家ノ經濟政策カラ申シマシテモ、極メテ不利不得策ナ不經濟ナ事デアルト斯ウ考ヘテ居タ、爾クナラク樺太廳ニ於キマシテハ、樺太興業會社ナルモノヲ起シテ、サウシテ樺太ノ開發ヲ此炭ニ依テ求メルト云フ御計畫ガアタト間久、然ルニ其御計畫ハ今日行ヒ得難キ狀況ニ立至リテ居ルト云フコトデアリマス、然ラバ此鐵道ヲ敷設致シマシテ、此鐵道ノ終點附近ニハ、極メテ豐富ナル炭田ガ埋沒シテアルノデアリマス、鐵道ヲ敷設シマスル所ノ經營者モ、此鐵道ヲ利用シ、又鐵道ノ收益ヲ舉ゲル上ニ於キマシテ、此石炭ノ採掘セラル、トセラレザルトハ、非常ナル利害關係ガアルト斯ウ考ヘマス、而シテ若シ幸ニ此私設鐵道ニ炭田ノ採掘權ヲ與ヘタナラバ、此鐵道ノ收益ハ知ラズ鐵道ノ増スノデアルト思フ、サウ致シマス云フト、會社ノ利益ノミナラズ、樺太廳ガ相當ニ補給セバナラナイ所ノ補助金ヲモ、出サズニ濟ムヤウナコトガアラウト斯ウ考ヘルノデアリマス、私ハ興業會社ノ設立セラル、コトヲ切望スル一人デアリマスレドモ、事既ニ此興業會社ヲ創立スルコトノ不能ナル場合ニ於キマシテモ、尙且ツ此炭田ヲ今日ノ如ク地下ニ埋沒セシメテ、其儘ニシテ置カレノデアリマスルカ、將又他ニ此炭田開發ノ途ハ執ラレノデアリマスルカ、其點ニ就キマシテ一應御答ヲ乞ヒタイと思ヒマス

○永井政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、實ハ樺太ノ炭田ハ只今ノ調査シ居ル範圍ニ於キマシテハ、非常ニ豐富ナリト云フ見込ヲ持テ居ルノデアリマス、此豐富ナル炭田ヲ開發スルト云フコトハ、樺太拓殖開發ノ上ニ於キマシテ、又一面ニ於キマシテハ樺太ノ燃料ヲ供給スル上ニ於キ

マシテモ、又炭價ノ向上ヲ獎勵スル上ニ於キマシテモ、炭價ヲ調節スル上ニ於キマシテモ、極メテ重要ナ事ト存ジマシテ、是ガ開發ニ對シマシテハ相當ナル調査ヲ遂ゲタノデアリマス、相當ナル調査ヲ遂ゲマシテ、是此議會マデニハ提案ヲ致シマシテ、御協賛ヲ得タイト云フ私ハ希望ヲ持テ居リマシタノデアリマスガ、併ナガラ樺太廳ニ於キマシテハ、調査ニ不十分ナル點ガ少クナイノデアリマシテ、多少缺點ガゴザイマシテ、是ガ調査ニ相當ノ時間ヲマダ要スルヤウデゴザイマスカラ、今年ノ議會ニハ到底間ニ合ヒマスミイト考ヘマスガ、甚ダ遺憾デゴザイマスルカ、此樺太廳ノ調査致シマシタ炭田採掘ノ方法ニ就テハ、此以上十分調査ヲ遂ケタイト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此炭田ノ採掘ニ就テハ將來如何ニスベキカ如何ニシテ將來炭田ヲ開發スベキカ、或ハ採掘スベキカト云フコトニ就テハ、一層慎重ニ調査スル必要ガ起リマシタノデ、隨テ此鐵道ノ沿線ニ於ケル炭田ニ就テモ將來如何ニスベキカ、或ハ會社ノ附屬事業トスベキカ、或ハ其他ノ方法トシテ開發スベキカト云フコトハ、要スルニ未來ノ調査事項ニ屬シテ居リマスガ、差當リマシテハ、此會社ノ附屬事業ニスルト云フコトニ就テハ、何トモ申上ダ兼ネマスノデ、今日ノ場合ニ於テノ出來ナイト申スヨリ仕方ガナイ、要スルニ樺太ノ豐富ナル炭田ニ就テハ、更ニ時間ヲ假シテ慎重ノ調査ヲ遂ゲテ、完全ノ法案トシテ——近キ將來ニ於テ相當ノ法案ト致シタイト考ヘルノデアリマス

○森山儀文治君 鶴澤君ヨリ種々ノ御質問ガアリマシタガ、私ハ極ク簡單ニ一二此條項ニ就テ、御尋致シタイと思ヒマス、第一ハドテラノ法案モ同ジデアリマスガ、第二條ノ社債ノ利子補給ニ關スル件デアリマス、之ニ依ルト社債ノ利息ハ分マデヲ補給スル、所デ但書ニ於テ社債ニ依テ得ル所ノ收益ト、他ノ收益トヲ區別サレマシテ、社債ノ收入ヲ以テ建設シタル鐵道ノ益金ハ、之ニ相當スル金額ヲ控除スルト云フコトニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ社債ニ依テ收入シタル金額ト、株金ノ拂込ニ依テ收入シタル金額トニ就テ、區別ヲ致シマスル必要ハナイヤウニ考ヘルノデアリマス、ノミナラズ又社債ニ依テ得タル益金ト、株金ニ依テ得タル益金トヲ區別スルト云フコトハ、餘程困難デハナカラウト思ヒマス、勿論第四條ニ依ッテ朝鮮總督若クハ樺太長官ガ、此益金等ノ計算方法ハ別ニ御定メニナルヤウニ書イデアリマスレドモ、株金ノ拂込ニ依テ建設シタル鐵道ノ益金デアルカ、社債ヲ利用シテ建設シタル鐵道ノ益金デアルト云フコトヲ區別スルノハ、第一ニ甚ダ困難デアルト信ズルト同時ニ、株金カラ出マシタ益金デアラウトモ、社債カラ出マシタ益金デアラウトモ、結局其益金ヲ綜合致シマシテ、サウシテ所謂八朱ニ達スルヤ否ヤト云フコトヲ計算致シマシテ補助致シ

マスレバ、毫毛差支ヘナイヤウニ考ヘルノデアリマス、然ルニ此
社債ト株金ノ拂込ノ收入トヲ區別セラレハシタノハ、一體下
ウ云フ譯デアリカ、又是非斯ウ云フヤウナ區別ヲシナケレバ
ナラス必要ガアルノデアリマス、ドウデゴザイマス、之ヲ第
一ニ伺ヒタイト思ヒマス、是ハ朝鮮ノ政府委員デモ、樺太ノ
政府委員ノ方デモ、ドチラデモ宜シウゴザイマス、御答ヲ願ヒ
マス

○大塚政府委員 鐵道ヲ經營シマスルニ當リマシテ、拂込
資本金ト社債トヲ一緒ニシマシテ、之ヲ建設スルノデアリマ
スカ、實際ニ於テハ其益金ハドチラノ益金デアルト云フ區
分ハ無イノデアリマス、只タ計算ノ便宜カラ、斯ウ云フコトニ
スル必要ガ出タノデアリマス、ソレハ例ヘバ拂込資本金ニ對
シテハ、八分ノ配當ニナラナイハ、其不足額ヲ補給スル
云フノデアリマスケレドモ、社債デ以テ建設シタ場合、其社
債ハ七分ノ利子デ借入レタト云フコトニ、此七分マデノ額
ニ補給スレバ宜イノデアリマス、其割合ガ違テ來ルノデアリ
マス、ソレデアリマスカラ八分ノ配當ヲ補償スルコト云フニハ、
利息額以上ノ補助金ヲヤル必要ガアル、即チ七分ノ利子デ
借り入レタ時ニハ、七分ヨリ以上ヤル必要ハ無イト云フコト
カラ、斯ウ云フ區分ガ必要ニナテ來ルノデアリマス、其益金
ヲ區分スル方法トシテハ、實際ニ於テハ兩方ノ資本カラ生レ
ル益金デアリマスカラ、詰リ社債ガ百萬圓、資本金ガ百萬圓
デアルト云ヘバ、兩方トモ六百萬圓、十二萬圓ノ利益ガア
タト云フコトニハ、其益金ハ按分比例デ、是ハ社債ノ益金は
ハ拂込資本金ノ益金ト云フヤウニ、計算上ノ便宜デ區分ス
ル積リデ致シマシタ

○森山儀文治君 次ニ第十條ニ就テ御尋致シマス、之ニ
依テ見マスト、第八條及第九條ニ依テ償還致シマスル
金額ハ、國稅滯納處分ノ例ニ依テ徵收スル、而シテ其先取
特權ノ順位ハ、國稅ニ次グモノデアルト云フ規定ニナテ居
ル、是ハ私ハ條理ノ上カラ申シマシテモ不公平デアル、又實
際社債借入金等ヲ爲シマスニ就テモ、會社ニ不利ヲ來シハ
シナイカト云フ考ガアルノデアリマス、ソレハ申スマデモナク國
稅滯納處分ニ依リマスト、先取特權ノ順位ハ先ヅ國稅ヲ
第一ニシ、其次ニ償還金ヲ第二位トスルノデアリマス、此條
文デハ「サウシマス、會社ニ他ノ負擔ヲ辨濟スルニ足ルダ
ケノ資產ガアルトキニハ、何モ問題ハ起リマセヌガ、若シ會社
ノ資產ガ少ナイトキニ於テハ、政府ノ償還ヲ先取リシテシマ
テ、一般ノ債權者ト云フモノハ、其足リナイダケノ損害ヲ受
ケネバナラヌコトニナルノデアリマス、成程政府ノ補助致シマ
シタモノノ償還スルト云フコトハ、國庫ノ爲メニ確實ヲ期ス
ルノハ、洵ニ結構デゴザイマセウケレドモ、併シ政府ガ斯ウ云
フ補助ヲ致シマシタノニ就テモ、政府ニモ相當ノ過失ガアル、

ノデアリマス、又此債權ノ原因ヲ尋ネテ見ルト、國稅等ノ如
キ特ニ優先權ヲ持ツ程ノ債權デハナイ、然ルニ之ヲ他ノ債
權者ニ先ツテ取ルト云フコトニナリマス、先程申シマス通
リ一般債權者ガ甚ダ害ヲ受ケルノミナラズ、斯ウ云フ危險ガ
アリマスカラ、隨テ會社ガ社債ヲ起スナリ、若クハ借入金ヲ
致シマストキニ於テモ、之ヲ貸サントスル所ノ債權者ガ是等
ノ點ヲ憂慮致シマシテ、遂ニ會社ガ社債若クハ借入金ヲ爲ス
コトニ對シテモ、妨害ガアルコトハ免レナカラウカト信ズル
デアリマス、斯ノ如ク條理ノ上カラ見マシテモ、特ニ之ヲ政府
ガ優先スル理由ガ無イバカリデナク、社債募集ニ就テモ多
少困難ヲ感ズルト云フヤウニ考ヘマスガ、政府ニ於テハ此點
ニ就テ、別ニ御差支ハ無イト御考ニナルノデアリマス、之ヲ
普通ノ債權ト同一ノ方法ニスルト云フコトニ就テハ御異
議ガアルノデアリマスカ、此點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大塚政府委員 此償還金ニ就テ先取特權ヲ認メルコト
ガ何ダカ專制的ノ處置ノヤウニモ、見ヤウニ依テハ見ラレル
カト思ヒマスガ、是ハ内地ノ地方鐵道補助法モ此通りニ規
定シテアルノデアリマス、ソレト私共ノ考トシマシテモ必シモ、
他ノ債權者ニ先ヅテ之ヲ取ルト云フコトガ不道理デナイ
ヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、ト申シマスノハ、此補助金
ト申シマスノハ、鐵道ヲ敷設シナイ場合ニハ會社ノ爲メニハ
極メテ不當ナル所得稅デアル、即チ現ニ償還ヲ命ゼラレテ居
ル場合ニ於テ、會社ノ資產ヲ構成シテ居ルカ、若クハ社員ノ
配當金ニ充テラレテ居ルモノニ對シマシテ、他ノ債權トハ餘
程違テ居ルト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマシテ、此處置
ガ必ズ不當デナイカノヤウニ考ヘラレルノデアリマス

○大石大君 私人第一條ノ益金ニ就テ伺ヒマス、此益金
ト申シマスノハ運輸收入ヨリ生ジタ益金デアリマセウカ、又
其他ノ雜收入ノ例ヘバ株券ノ書替料ノノヤウナモノヲ含シ
タ益金デアリマセウカ

○大塚政府委員 雙方含シテ居リデアリマス、會社ノ
損益計算ノ表ニ現ハレル益金ト解釋シテ居リマス

○大石大君 借入金若クハ社債ノ利息デアリマスガ、之ニ
對シテハ未ダ限度トシテ補給スルコトニナテ居リマスガ、若
シ社債借入金ガ八七九以上、例ヘバソレガ一割トスレバ
二朱ノ利息ノ不足ヲ生ズル、此不足ナルモノヲ以テ借受ケ
タ場合ニ於テハ、二條ノ建設費トシテ其不足ヲ計算サレマ
スカ、如何デアリマスカ

○大塚政府委員 一寸御尋シマスガ、其利息ヲ拂フ爲メ
ニ借入レル斯ウ仰シヤルデアリマスカ、其場合ニハ建設費
ト見ナイ積リデアリマス

○岡田伊太郎君 私人朝鮮デモ樺太デモ宜シウゴザイマス
ガ、五條六條ノ補助金額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越スト云

フ是モ先刻鶴澤君ハ少ナイト云フ御心配デ御尋デアリマス
ガ、私人朝鮮ノ二百五十萬圓、樺太ノ五十萬圓ハ初マリト
シテハ大層多イト思ヒマス、初年度カラ始リマシテドノ位ノ
哩數ガ出來マシテ、其哩數ノ建設費、是ハドウ云フ御計算
デ見積ラレマシタカ、終ヒニハ非常ニ不安ヲ感ズルト思ヒマ
スガ、最初ハ大層餘ルト思ヒマス、此額ニ對スル見積ノ豫想
ヲ朝鮮ノ方ニモ樺太ノ方ニモ伺ヒマス

○大塚政府委員 朝鮮ノ補助金ノ年額ニ就テ御答致シ
マスガ、朝鮮ニ於テハ法律ヲ出シマスルノハ、今回デ二回目
デアリマスガ、補助ハ數年前ヨリヤテ居リマス、サウシテ今日
迄モ補助ノ下ニ建設ヲ進メテ居ルノデアリマス、サウシテ其
二百五十萬圓ヲ算出シタル基礎ニ關シテハ、先程御手許ニ
差上デマシタル參考書ノ十五頁ニ、線路哩數一哩當リノ建
設資本、ソレニ對スル補助費ト云フヤウナモノヲ詳細ニ述ベ
テアリマス、ソレヲ御覽ヲ願ヒマス

○永井政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスガ、最高五
十萬圓ト云フ程度ハ、其年度ニ於ケル最高額デアリマセヌ
デ全體ノ豫算ヲ唯タ許可ヲ致サウト云フ敷設鐵道ノ全體
ノ哩數ノ最高五十萬圓ヲ以テ程度トシタノデアリマス、サウ
云フ譯デゴザイマスカラ、初年度ニ五十萬圓出スト云フノデ
アリマセヌ、初年度ハ其哩數ノ出來マシタ狀況ニ應ジテ、年
豫算ヲ取ル積リデアリマス

○岡田伊太郎君 サウスルト樺太長官ニ伺ヒマスガ、最初
ハドノ位ノ哩數ガ何時御著手ニナル御見當カ、ソレヲ伺ヒマ
ス、序ニ是ハ朝鮮デアリマスガ、是モ頂戴シタモノデアリカ知レ
マセヌガ、既ニ補助ヲ與ヘテ居ル哩數ハ幾ラアリマスカ、其金
額ト哩數

○永井政府委員 大體ニ許可ヲシマシタ哩數ハ百九十八
哩デ、凡ソ千萬圓以上三千萬圓ノ範圍デ行ケヤウト思ヒ
マス、第一期ニ許シマスルモノハ大抵三十九哩デ、總工費ハ
二百五十萬圓位デ行ケヤウカト思ヒマス

○岡田伊太郎君 場所ハ...

○永井政府委員 場所ハ榮濱ヨリ國境ニ至ル...

○大塚政府委員 御答致シマス、昨年補助ヲ與ヘマシタル
哩數ハ、開業シテ居リマスル所ガ百三十二哩デ、ソレカラ未
開業ノ線路ハ千四百二十三哩、而シテ此未開業ノ線路ニ
就テハ、マダ資本金ヲ拂込シテ居ラヌノガ多カラウト思ヒマ
ス、昨年補助ヲシマシタ資本總額ハ二千二百二十萬圓程ノ
資本ニ對スル補助ヲシテ居リマス

○鈴木久次郎君 朝鮮ノ鐵道ノ現場ハ甚ダ不振デアッテ、
豫定ノ計畫ハ遂行スルコトガ出來ナイヤウナ狀態デアルト云
フコトハ、皆人ノ憂慮シテ居ルトコロデアアルノデアリマスガ、既
ニ今日迄モ解散シタモノモアル、既ニ解散ヲ決議シタモノモ

アル、其他ニモ瀕死ノ状態ニアルモノガアリマスガ、政府ガ此法案ヲ出シマシタハ、此現狀ヲ救フ上ニ於テ、又豫定ノ計畫ヲ遂行スル上ニ於テ、已ムヲ得ズ斯ノ如キ補助法案ヲ提出スルヤウニナツタラウト思フノデアリマスガ、私ノ伺ヒタイノハ、斯ノ如キ法案ガ實施セラレマスル場合ニ於キマシテハ、既ニ許可サレタル豫定ノ鐵道モ、其事業ノ遂行ヲ豫期ノ如ク進メルト云フ思召デアリマセウカ、御見込ヲ承リタイノデアリマス、今日ハ既ニ拂込ガ十圓デアアルノニ、株券ハ五圓トカ三圓トカ云フヤウナ價ニナツテ居ルノモゴザイマスシ、二十圓拂込ノモノガ十圓トカ八圓トカニナツテ居ルヤウナモノガ多イノデアリマス、此法案ヲ協賛致シマスレバ、豫定ノ計畫ガ果シテ遺憾ナク實行出來ルト云フ御見込デアリマセウカ、一應伺ヒマス

○大塚政府委員 朝鮮ニ於ケル鐵道會社ガ或ハ解散シ、或ハ解散ノ決議ヲシテ、如何ニモ不振ノ状態ノヤウニ世間ニハ言觸ラサレテ居ルノデアリマスガ、實際ニ於キマシテハ、線路ニ依リ、其地方ニ依リ、各、趣ヲ異ニシテ居リマス、人口ノ稠密ナ物産ノ多イ地方ニ敷設スル目的ヲ持テ居ル鐵道ニ於キマシテハ、決シテ左様ナ事ハナイノデアリマス、今日ニ於テモ戰時中景氣ノ好イ時ニ設立シマシタ會社ガ二ツ程アリマスガ、其等ノモノハ先程申シマシタヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、其外ニ或ハ建設中或ハ設計中デアリマシテ、必シモ前途ヲ悲觀スベキモノデハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、又政府ニ於キマシテ株式ノ拂込ガ非常ニ困難ナ場合ニ於キマシテハ、之ニ金融ノ便ヲ付ケテ、社債ノ發行ナリ、借入金ナリスル時ニ對シテ助力ヲ與ヘテ居リマス、出來得ル限り豫定ノ事業ノ遂行ヲヤラセタイト思フノデアリマス、ソレカラ此鐵道補助法ヲ提出シマシタ動機ハ、必シモ工ヲ急ク意味デハナイノデアリマスシテ、永久ニ互ニ朝鮮ノ鐵道ノ普及ヲ圖ルノニアルト云フコトハ前ニ申シマシタ通りデ、此法案ハ一昨年ノ議會ヘ既ニ是同ジヤウナ法案ヲ出シタノデアリマシテ、必シモ今日一會社ノ窮境ヲ救フト云フヤウナ目的ヲ以テ提出シタノデハゴザイマセウカラ、其邊ハ宜シク御了承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、サウ致シマスルト此補助法ヲ出シマシタナラバ、豫定ノ線路ガ皆出來カドウカト云フ見込ニ至リマシテハ、必ズ出來ルト云フコトハ、私共トシテハ今日斷言ハ出來ヌノデアリマス、又是ハ經濟界ノ影響ニ依リマシテ、豫定ノ年限ヨリ遅レルコトモアルダラウト思ヒマス、併シ政府トシテハ一面ニ於テ斯様ナ補助法ヲ出シ、一面ニ於テハ事業ノ遂行ノ上ニ各種ノ援助ヲ與ヘテ、サウシテ成ベク豫定ノ通リ事業ノ遂行ヲ致スト云フ考ヲ持シテ居ル次第デアリマス

○鈴木久次郎君 只今ノ御答ニ依リマスルト、世間ノ彼此レ言フノハ餘リ事實ニ當儀テ居ラス、ソレ程心配スベキ状態デナイ、斯ウ云フヤウナ御答辯デ甚ダ満足スル譯デアリマスガ、然ラバ是マデ許可致シタ、即チ事業ニ著手シテ居ル所ノ各會社ハ、斯ノ如キ補助ヲ當テニシテ居ルモノデハナイ、是マデ通りデヤラウト云フ見込ヲ以テ、既ニ會社モ出來事業モ進行サセテ居ル譯デアリマスカラ、此法案ガゴザイマセデモ、只今ノ御答ニ依リマスルト豫定計畫ハ遂行ガ出來ル、豫定ノ工事モ其他ノ施設モ、此法案ガナクテモ出來ルヤウナ状態デ、世間デ心配シテ居ルヤウナコトデハナイト云フ風ナ現狀デゴザイマスガ、尙ホ一應伺ヒ置キタイト思ヒマス

○大塚政府委員 御答致シマスガ、此朝鮮鐵道ノ補助法ハ從來ヤレテ居ル所ノ補助ヲ單ニ法律ニスル、斯ウ云フノニ止マルノデアリマス、從來モ補助ナクシテヤレルト云フノデハナカッタノデアリマシテ、政府ノ補助ハ何處マデモアルト云フコトヲ前提トシテ、計畫シテ參ッダモノデアリマス、併シ法律ガアリマセスト云フト、如何ニモ不確實ノ補助ノヤウデ、豫算デモ削除ヲサレバ補助ハ出來ナイ破目ニナリハシナイカト云フコトデ、株主ニ安心サセルト云フ上カラ見デモ、又株式拂込ヲ爲サシメル上カラ見デモ、餘程其處ニ影響ガアルヤウニ思ハレル、同ジ補助ヲシマスナレバ、一定ノ年限ヲ限リマシテ、補助スルト云フコトヲ確實ニシテ、起業ヲ獎勵スルノガ適當デアルト云フノガ、此法案ノ骨子デアリマス

○鈴木久次郎君 御答ニ依リマスルト、今マデ實行致シテ居ルノヲ只茲ニ拵ヘタダケデ、何モ是マデト變リハナイト云フヤウナ意味ニ取レマシタガ、サウシマスレバ別ニ深ク論議スル必要ハナイヤウデアリマスガ、唯ダ是迄ハ補助ノ割合ガ書イテナイガ、爰ニハ六朱トカ七朱トカ云フヤウナ事モ書イテアルヤウデゴザイマスガ、矢張是ハ從來ノ通りヲ此法ニシタト云フタケデ、何等ノ變更ガナイノデアリマスガ

○大塚政府委員 御答致シマス、從前ハ六朱ノ補助デアリマシタガ、其後金利ノ昂騰ニ伴ヒマシテ之ヲ七朱ニ致シマシタ、大正八年ノ前半期ニ至リマシテ、更ニ金利ガ騰ツタノニ連レテ、大正八年ノ下半期ニハ八朱ニ致シマシタ、其以後ハ八朱ヲ續ケテ居リマス、ソレデ實際ノ補助額ト云フモノハ、會社ノ利益ヲ差引マスルト、或ハ二朱ナリ、或ハ五朱ナリ、或ハ七朱トナツテ居リマス

○委員長(米田稜君) 鈴木君ニ一寸伺ヒマシテ御同意ヲ得タイノデアリマスガ、マダ御質問ガアリマスガ

○鈴木久次郎君 モウ宜シウゴザイマス

○委員長(米田稜君) 然ラバ御諮リヲ致シマスガ、他ニ御質問ハアリマセウカ

○佐々木平次郎君 私一寸……

○委員長(米田稜君) サウスレバ本日ハ大分時刻モ遅レテ居リマス、何レモウ一回開カレナケレバナラヌト存シマスカラ、本日ハ是デ打切ルコトニシテ散會致シマス
〔明日ヤリマスカ〕ト呼フ者アリ
○委員長(米田稜君) 明日ハ餘リ重要問題モナイヤウニ考ヘマスカラ、午後一時カラ開會スルコトニ致シタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス、尙ホ公報ヲ以テ申上ゲルコトニ致シマス
午後四時四十一分散會